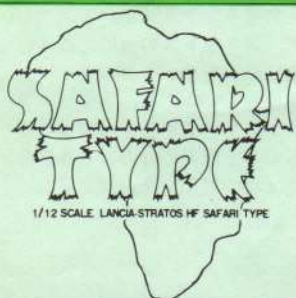




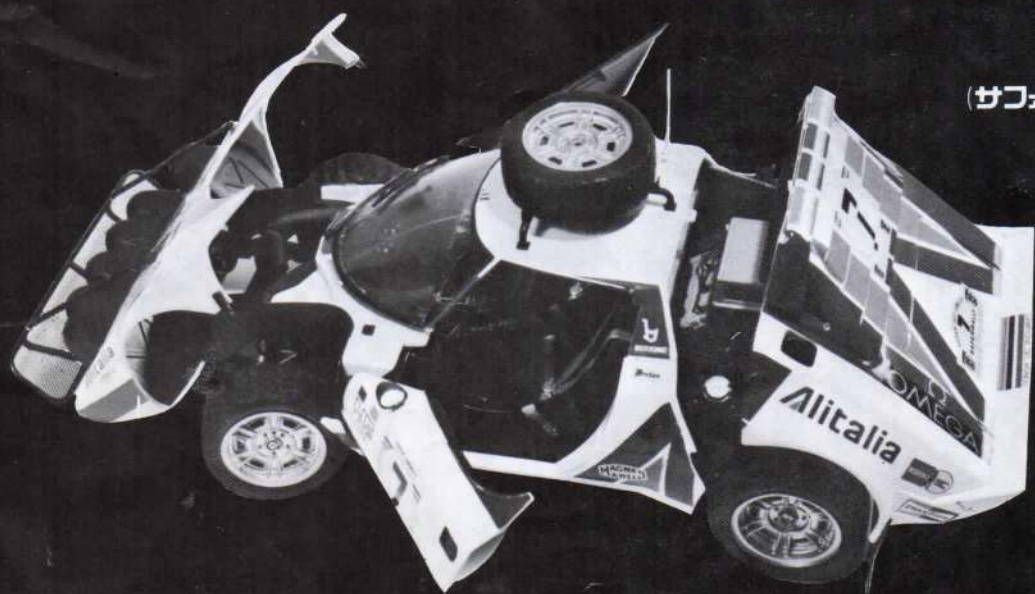
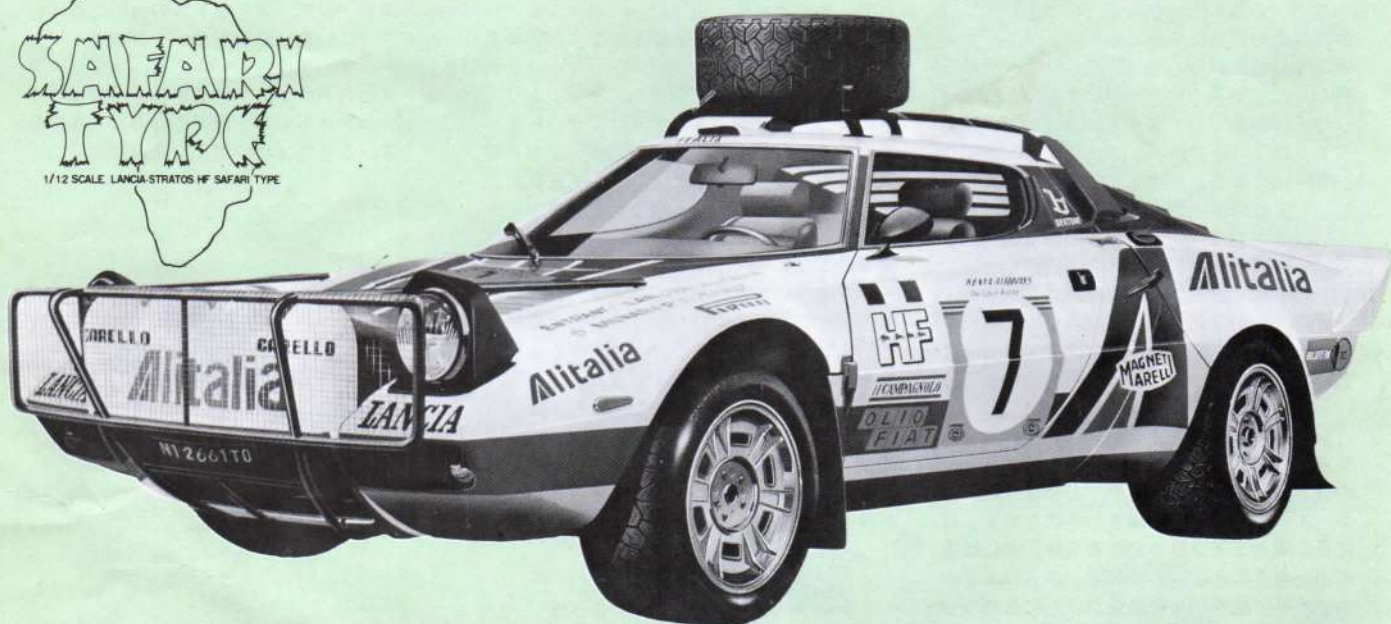
LANCIA

STRATOS HF

1/12 IDENTICAL SCALE MODEL KIT. SAFARI TYPE ALL PLASTIC MODEL ASSEMBLYKIT
NITTO KAGAKU CO.,LTD MADE IN JAPAN



1/12 SCALE LANCIA STRATOS HF SAFARI TYPE



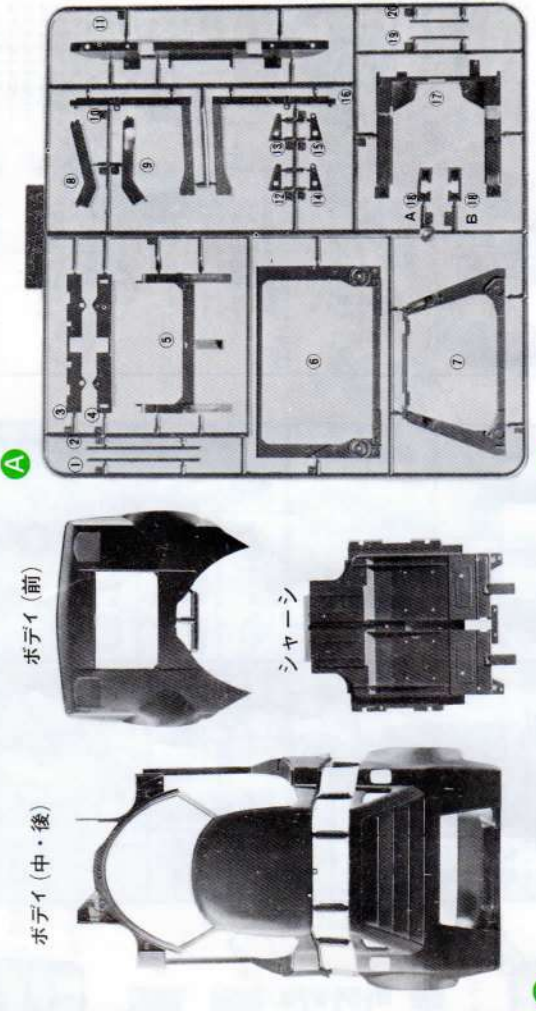
(サファリ仕様)ランチア・ストラトスHF
組立説明図



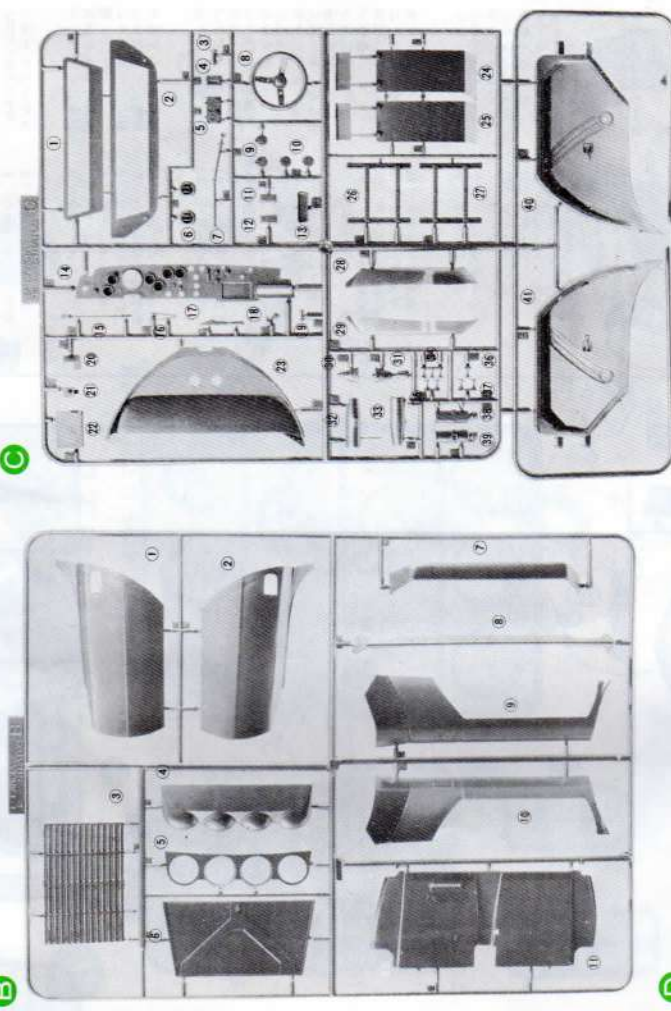
株式会社 日東科学

東京都江戸川区中央3丁目24 〒132

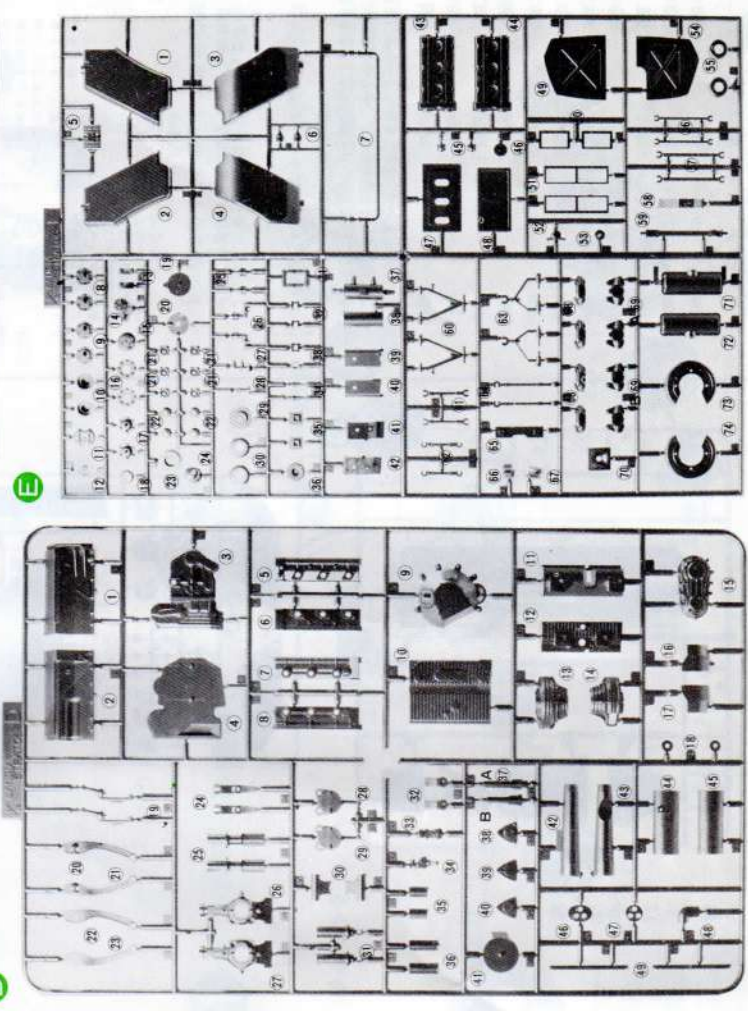
部品図



- 11. リアハルカヘッド
- 12. リアエンジン蓋
- 13. リアエンジン蓋
- 14. リアエンジン蓋
- 15. リアエンジン蓋
- 16. リアエンジン蓋
- 17. リアエンジン蓋
- 18. リアエンジン蓋
- 19. フロントフレーム
- 20. フロントフレーム
- 21. マイコンコントロール
- 22. マイコンコントロール
- 23. マイコンコントロール
- 24. シート本体
- 25. シート本体
- 26. シート本体
- 27. シート本体
- 28. シート本体
- 29. シート本体
- 30. シート本体
- 31. シート本体
- 32. シート本体
- 33. ステアリングコラム
- 34. ステアリングコラム
- 35. ステアリングコラム
- 36. ステアリングコラム
- 37. ステアリングコラム
- 38. ステアリングコラム
- 39. ステアリングコラム
- 40. ステアリングコラム
- 41. ステアリングコラム



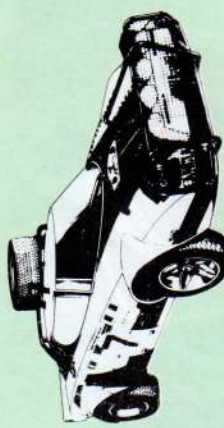
- 1. シリンダーブロック
- 2. シリンダーブロック
- 3. シリンダーブロック
- 4. シリンダーブロック
- 5. シリンダーブロック
- 6. シリンダーブロック
- 7. シリンダーブロック
- 8. シリンダーブロック
- 9. シリンダーブロック
- 10. シリンダーブロック
- 11. シリンダーブロック
- 12. シリンダーブロック
- 13. シリンダーブロック
- 14. シリンダーブロック
- 15. シリンダーブロック
- 16. シリンダーブロック
- 17. シリンダーブロック
- 18. シリンダーブロック
- 19. シリンダーブロック
- 20. シリンダーブロック
- 21. シリンダーブロック
- 22. シリンダーブロック
- 23. シリンダーブロック
- 24. シリンダーブロック
- 25. シリンダーブロック
- 26. シリンダーブロック
- 27. シリンダーブロック
- 28. シリンダーブロック
- 29. シリンダーブロック
- 30. シリンダーブロック
- 31. シリンダーブロック
- 32. シリンダーブロック
- 33. シリンダーブロック
- 34. シリンダーブロック
- 35. シリンダーブロック
- 36. シリンダーブロック
- 37. シリンダーブロック
- 38. シリンダーブロック
- 39. シリンダーブロック
- 40. シリンダーブロック
- 41. シリンダーブロック



- 1. フロントフレーム
- 2. フロントフレーム
- 3. フロントフレーム
- 4. フロントフレーム
- 5. フロントフレーム
- 6. フロントフレーム
- 7. フロントフレーム
- 8. フロントフレーム
- 9. フロントフレーム
- 10. フロントフレーム
- 11. フロントフレーム
- 12. フロントフレーム
- 13. フロントフレーム
- 14. フロントフレーム
- 15. フロントフレーム
- 16. フロントフレーム
- 17. フロントフレーム
- 18. フロントフレーム
- 19. フロントフレーム
- 20. フロントフレーム
- 21. フロントフレーム
- 22. フロントフレーム
- 23. フロントフレーム
- 24. フロントフレーム
- 25. フロントフレーム
- 26. フロントフレーム
- 27. フロントフレーム
- 28. フロントフレーム
- 29. フロントフレーム
- 30. フロントフレーム
- 31. フロントフレーム
- 32. フロントフレーム
- 33. フロントフレーム
- 34. フロントフレーム
- 35. フロントフレーム
- 36. フロントフレーム
- 37. フロントフレーム
- 38. フロントフレーム
- 39. フロントフレーム
- 40. フロントフレーム
- 41. フロントフレーム

部品名

- 1. リアフレーム部品
- 2. リアフレーム部品
- 3. リアフレーム部品
- 4. リアフレーム部品
- 5. リアフレーム部品
- 6. リアフレーム部品
- 7. リアフレーム部品
- 8. リアフレーム部品
- 9. リアフレーム部品
- 10. リアフレーム部品
- 11. リアフレーム部品
- 12. リアフレーム部品
- 13. リアフレーム部品
- 14. リアフレーム部品
- 15. リアフレーム部品
- 16. リアフレーム部品
- 17. リアフレーム部品
- 18. リアフレーム部品
- 19. リアフレーム部品
- 20. リアフレーム部品
- 21. リアフレーム部品
- 22. リアフレーム部品
- 23. リアフレーム部品
- 24. リアフレーム部品
- 25. リアフレーム部品
- 26. リアフレーム部品
- 27. リアフレーム部品
- 28. リアフレーム部品
- 29. リアフレーム部品
- 30. リアフレーム部品
- 31. リアフレーム部品
- 32. リアフレーム部品
- 33. リアフレーム部品
- 34. リアフレーム部品
- 35. リアフレーム部品
- 36. リアフレーム部品
- 37. リアフレーム部品
- 38. リアフレーム部品
- 39. リアフレーム部品
- 40. リアフレーム部品
- 41. リアフレーム部品
- 42. リアフレーム部品
- 43. リアフレーム部品
- 44. リアフレーム部品
- 45. リアフレーム部品
- 46. リアフレーム部品
- 47. リアフレーム部品
- 48. リアフレーム部品
- 49. リアフレーム部品
- 50. リアフレーム部品
- 51. リアフレーム部品
- 52. リアフレーム部品
- 53. リアフレーム部品
- 54. リアフレーム部品
- 55. リアフレーム部品
- 56. リアフレーム部品
- 57. リアフレーム部品
- 58. リアフレーム部品
- 59. リアフレーム部品
- 60. リアフレーム部品
- 61. リアフレーム部品
- 62. リアフレーム部品
- 63. リアフレーム部品
- 64. リアフレーム部品
- 65. リアフレーム部品
- 66. リアフレーム部品
- 67. リアフレーム部品
- 68. リアフレーム部品
- 69. リアフレーム部品
- 70. リアフレーム部品
- 71. リアフレーム部品
- 72. リアフレーム部品
- 73. リアフレーム部品
- 74. リアフレーム部品



比較して150kg近くも増大。エンジンライオンは75台のなかでは、かなりのヘビーウェイトカーとなっている。ブレーキをはじめ防水・防塵対策には、より細かい神経が注がれ、サファリー独特の奇酷さに十分対応できるよう配置されています。レース開始は4月7日。しかし77年サファリーもランチャの読みをはるかに上回る最悪コンディションでした。全行程6000kmのうち、ドライはわずかに1500kmあまり。あとは完全なウェットのラフロッド。そうしたなかで、ワークスランチャはS・ムナーリの24バルブ・ストラトスを3位に入賞させたのです。完走はわずか12台でした。ストラトスはサファリーでは無冠です。しかしミッドシップのDOHCを初めてサファリーといふ奇麗なオフロードに持ち込み、6000kmを完走する潜在的能力は高く評価されています。現在3連勝中のモンテカルロラリーのように1回でも勝利を手中に収めたら、ストラトスは、国際ラリーで多く設定されているスベジヤルステージで、ストラトスの右に出るスピードカーはいないからです。1台のクルマがラリーとサーキットを制覇する。ラリーとストラトスとストラトスターボが、そんな世界のカーマニアたちの夢を現実のものとする日も、そう遠いことではないでしょう。



LANCIA

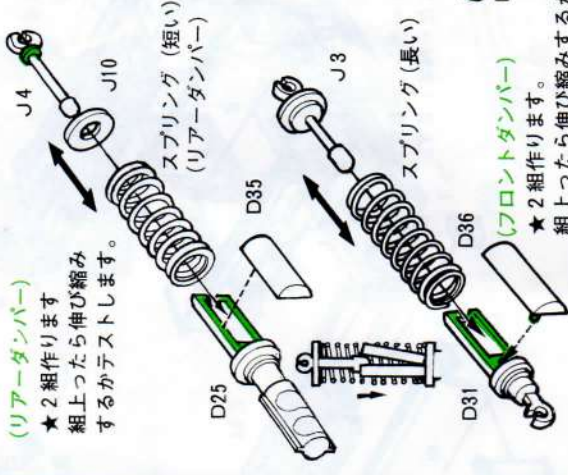
75~76年のヨーロッパチャンピオンに輝いたワークスカーとほぼ同一。フロントには黒塗りのストーションガードと4個のキャレロ製ロードランプを装着。ボディの前後端には頑固なルーバーを採用しクラッシュした際のブルブッシュを容易にしています。クルマは、あのモンテカルロラリーの覇者、S・ムナーリを筆頭に6人の名ドライバーが狭いストラトスのコックピットに座ります。ライバルは我が日本の誇るランサー1600GSR、ダットサン710クーペ（パイオレット）をはじめブジョー504Ti、オペルカデットGTなど。レースが開始されるのは、乾き切ったアフリカカンロードでは、270馬力のストラトスがめっぽう速い。いくつかの区間でタイムをクリアするほどの驚異的な速さをみせつけました。しかし、昨年同様アフリカの天気はストラトスにはほほえみを送りません。まるで集中豪雨のような激しい雨。完全に川と化した道。そして76年もストラトスの頭上に栄冠は輝きませんでした。

さて、もっとも最新のラリー・ストラトスは77年サファリー・ラリー仕様車です。77年4月7日から開催された第25回サファリー・ラリーには昨年同様3台のストラトスがエントリーされました。このうち、2台はラフロッド・スピードイベントの豊かな経験から生まれた、新設計24バルブのDOHCエンジンを搭載。76年仕様車の270馬力を上回るハイパワー・ラリーカーです。このエンジンのステアリングを握るのはランチャチームのエース、S・ムナーリをはじめ2名。あとの1台は、76年仕様車とまったく同一の12バルブDOHCを搭載しています。タイヤは、このラリーのためにランチャをプロデュースするピレリ。まるでシトロエン2CV用を思わせるような135/100VR15という超細細のタイヤを開発し、3台のストラトスに装着されました。車体重量はアニメタル・バー、セカンズスペースタイヤ、燃料タンク増大などからモンテカルロ仕様車と

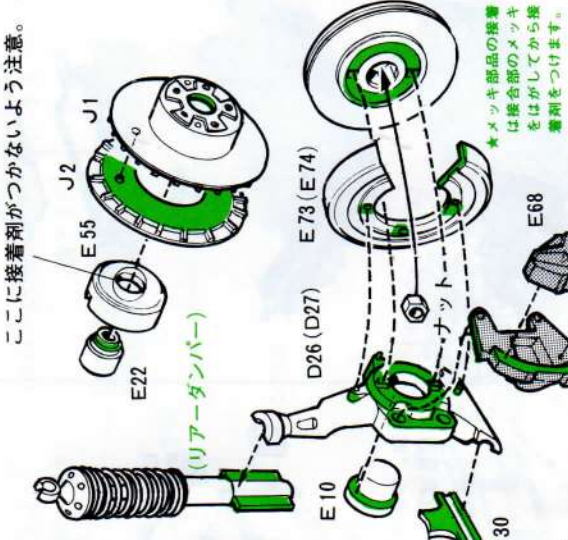
ランチャ・ストラトスは、他のあらゆるスーパーカーとは違ったベース（思想）のもとに設計されています。それは、このクルマが奇酷なラリーの場で活躍できるように、純粋なラリーカーとしてデザインされ、それをもとにして設計された高性能車だからです。イタリア有数のカーポーター、フェラーリ、ランボルギーニ、マセラティなどがデザイナーとハイパワーを優先して設計されているのを考えてみても、まさに特異な存在のスーパーカーといえるでしょう。このクルマが、スーパーカーの異端児と称されているのも、そんなところにあるのかも知れません。

ストラトスの登場は1970年のトリノ・モーターショー。発表当時はこのクルマがラリーカーであることはもちろん、市販されるクルマであるとは誰ひとりとして信じてはいませんでした。オールガラスファイバーの軽量なボディに、あの名車フェラーリのV6エンジンをミッドシップに搭載。あまりにも前衛的すぎるフォルムは、クルマというよりも先に深遠な海を渡るに十分でした。しかし、人々の心を開くには、イタリアのタルガ・フロートで開催されたイタリアンラリーで、ストラトスはラリーの王者、マルティニ・ポルシェ911に追従し、見事2位に入賞したからです。とくにハイスピードを要求される直線ダートコースでは、ポルシェを上回る圧倒的なスピードで、多くのラリードライバーの目をうばいました。続くヨーロッパラリーでは優勝。これがヨーロッパ選手権の第一歩となるのです。ストラトス・オブ・ラリーはこの日から始まったといってもいいでしょう。「サファリーを制覇した者は、世界を制覇する」ということばがあります。100台近いエントリーのなかで、完走はわずかに30台ほど。その激しいラリー内容からサファリーはプロクン・カーラリーとまで称されるほどです。日に日に変化するアフリカの気象条件。時には道が川となることさえあります。ストラトスがサファリーで華やかな戦績をあげたのは75年から。この年いきなり2・3位を制覇し、ストラトスの強固なボディと優れたエンジンの耐久性を実証しました。翌76年のサファリーにエントリーされたワークスストラトスには、より前年のノウハウから完成されたマシンとなっていて登場しています。ワークス仕様、ストラトスは12バルブのDOHCエンジンを270馬力/8500rpmにまでチューン。馬力あたり重量は、わずかに3.2kg/PSというすごさです。このハイパワーは、前年の教訓からハイスピードコースとなりがちでサファリーの特性を十分に研究した結果から生まれたものです。76年エントリーされた3台のストラトスのもっとも大きな特徴。それはNo.2のスペースタイヤの位置をリア・カウルの上からルーフトップの上に頑強に固定したこと。これは75年のワークスカーが重量配分のバランスに苦労したことから設置されたわけ。外観上は

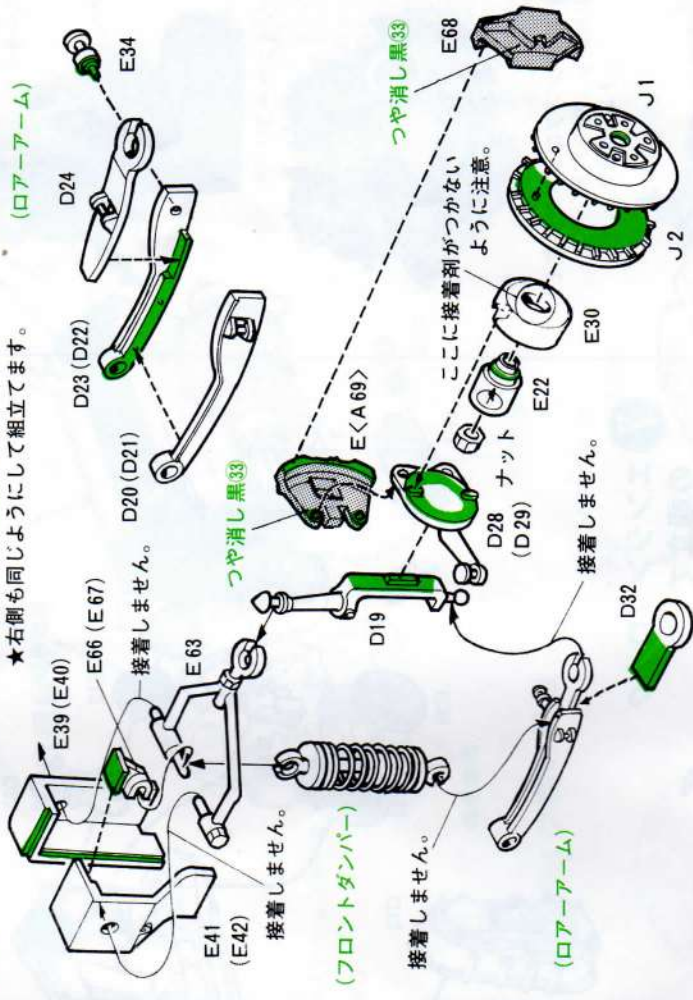
1 ダンパーの組立て



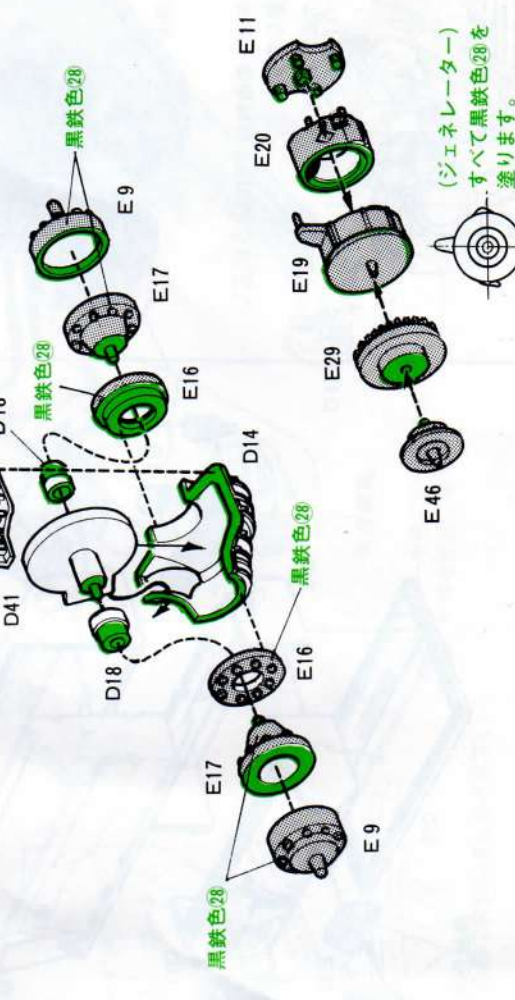
2 リアサスペンションの組立て



3 フロントサスペンションの組立て



4 デフギアアールの組立て



組立て前の注意

- 組立てる前に必ず説明文をよく読んで下さい。
- ニップル、ヤスリ、ナイフ、ピンセット、ドライバー (+) セロハンテープ等の工具を用意しましょう。
- メッキの接着は接合部のメッキをはがしてから接着剤を塗ります。
- 接着剤はビン入 (液体 - 別買) を使用したほうが、より作りやすくなります。
- 部品をランナー (枝) から切りはなす場合は、手でもぎとらないでニッパーやナイフを使って、ていねいに切りとって下さい。
- 一度仮組をして、取付位置を確認してから組立ましょう。

※部品の接着は接合部のメッキをはがしてから接着剤を塗ります。

※メッキの接着は接合部のメッキをはがしてから接着剤を塗ります。

※接着剤はビン入 (液体 - 別買) を使用したほうが、より作りやすくなります。

1 (ダンパー)の組立て

(リアダンパー) D25、C35を接着してかわかないようにスプリングを入れJ10、J4を図のようにさし込みます。

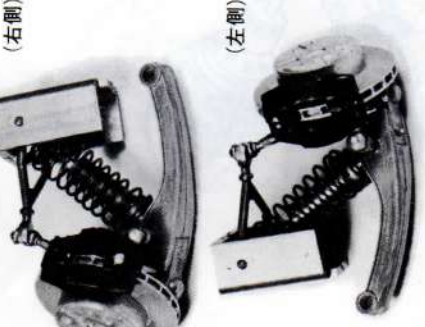
(フロントダンパー) D31、D36を接着してかわかないようにスプリングを入れJ3を図のようにさし込みます。



2 (リアサスペンション)の組立て



3 (フロントサスペンション)の組立て



★E63、D19、D24はバチンとさし込みます。(接着しません。)

4 (デフギアアールの組立て)

F

G

H

I

J

K

L

M

N

O

P

タイヤ (5個)

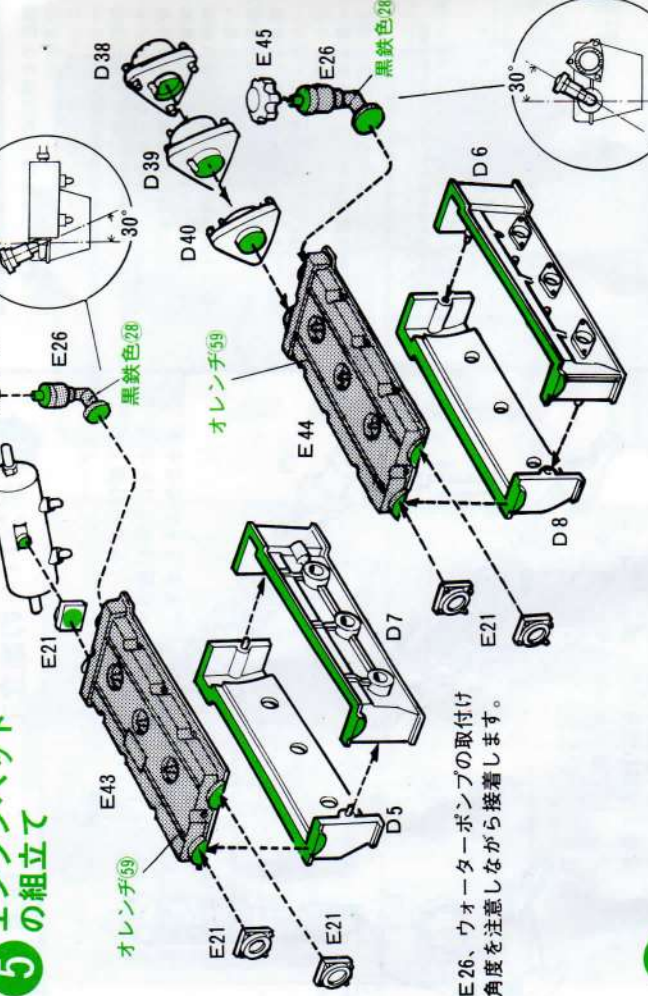
金属部品・パイプ部品

- | | |
|-----------|------------|
| アンダーガード | 25. バッチリ |
| フロア | 26. ヘッドライト |
| リアラジエーター | 27. ストップ |
| リアカウリング部品 | 28. ストップ |
| リアカウリング部品 | 29. ストップ |
| リアカウリング部品 | 30. ストップ |
| リアカウリング部品 | 31. ストップ |
| リアカウリング部品 | 32. ストップ |
| リアカウリング部品 | 33. ストップ |
| リアカウリング部品 | 34. ストップ |
| リアカウリング部品 | 35. ストップ |
| リアカウリング部品 | 36. ストップ |
| リアカウリング部品 | 37. ストップ |
| リアカウリング部品 | 38. ストップ |
| リアカウリング部品 | 39. ストップ |
| リアカウリング部品 | 40. ストップ |
| リアカウリング部品 | 41. ストップ |
| リアカウリング部品 | 42. ストップ |
| リアカウリング部品 | 43. ストップ |
| リアカウリング部品 | 44. ストップ |
| リアカウリング部品 | 45. ストップ |
| リアカウリング部品 | 46. ストップ |
| リアカウリング部品 | 47. ストップ |
| リアカウリング部品 | 48. ストップ |
| リアカウリング部品 | 49. ストップ |
| リアカウリング部品 | 50. ストップ |
| リアカウリング部品 | 51. ストップ |
| リアカウリング部品 | 52. ストップ |
| リアカウリング部品 | 53. ストップ |
| リアカウリング部品 | 54. ストップ |
| リアカウリング部品 | 55. ストップ |
| リアカウリング部品 | 56. ストップ |
| リアカウリング部品 | 57. ストップ |
| リアカウリング部品 | 58. ストップ |
| リアカウリング部品 | 59. ストップ |
| リアカウリング部品 | 60. ストップ |
| リアカウリング部品 | 61. ストップ |
| リアカウリング部品 | 62. ストップ |
| リアカウリング部品 | 63. ストップ |
| リアカウリング部品 | 64. ストップ |
| リアカウリング部品 | 65. ストップ |
| リアカウリング部品 | 66. ストップ |
| リアカウリング部品 | 67. ストップ |
| リアカウリング部品 | 68. ストップ |
| リアカウリング部品 | 69. ストップ |
| リアカウリング部品 | 70. ストップ |
| リアカウリング部品 | 71. ストップ |
| リアカウリング部品 | 72. ストップ |
| リアカウリング部品 | 73. ストップ |
| リアカウリング部品 | 74. ストップ |
| リアカウリング部品 | 75. ストップ |
| リアカウリング部品 | 76. ストップ |
| リアカウリング部品 | 77. ストップ |
| リアカウリング部品 | 78. ストップ |
| リアカウリング部品 | 79. ストップ |
| リアカウリング部品 | 80. ストップ |
| リアカウリング部品 | 81. ストップ |
| リアカウリング部品 | 82. ストップ |
| リアカウリング部品 | 83. ストップ |
| リアカウリング部品 | 84. ストップ |
| リアカウリング部品 | 85. ストップ |
| リアカウリング部品 | 86. ストップ |
| リアカウリング部品 | 87. ストップ |
| リアカウリング部品 | 88. ストップ |
| リアカウリング部品 | 89. ストップ |
| リアカウリング部品 | 90. ストップ |
| リアカウリング部品 | 91. ストップ |
| リアカウリング部品 | 92. ストップ |
| リアカウリング部品 | 93. ストップ |
| リアカウリング部品 | 94. ストップ |
| リアカウリング部品 | 95. ストップ |
| リアカウリング部品 | 96. ストップ |
| リアカウリング部品 | 97. ストップ |
| リアカウリング部品 | 98. ストップ |
| リアカウリング部品 | 99. ストップ |
| リアカウリング部品 | 100. ストップ |
- ★部品請求には下のカードが必要です。
部品請求をなさる方はお名前の氏名、住所、郵便番号(できれば電話番号)をのせて、住所にかいて下さい。
- 1/12ランチアストラトス(サブアリ仕様)
ARTNO.619
- 部品をなくしたり破損なさった方は、このカードの必要部品を下記ごみ代金を必ずお申し込み下さい。日東科学サービス係までお申し込み下さい。
- | | | | |
|------|------|-----------|------|
| A 部品 | 450円 | L・M 部品 | 200円 |
| B 部品 | 450円 | O 部品 | 350円 |
| C 部品 | 450円 | P 部品 | 350円 |
| D 部品 | 450円 | ボディ (前) | 400円 |
| E 部品 | 450円 | ボディ (中・後) | 800円 |
| F 部品 | 450円 | シャーン | 400円 |
| G 部品 | 350円 | タイヤ1台分 | 800円 |
| H 部品 | 350円 | 金属部品 | 200円 |
| I 部品 | 250円 | パイプ部品 | 200円 |
| J 部品 | 350円 | マーク (大) | 300円 |
| K 部品 | 350円 | マーク (小) | 200円 |
- 日東科学

5 (エンジンヘッドの組立て)



5 エンジンヘッドの組立て



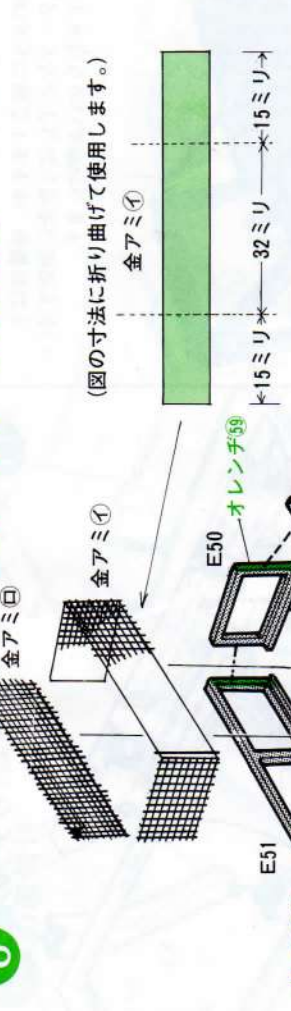
E26、ウォーターポンプの取付け角度を注意しながら接着します。

8 (エアークリーナーの組立て)

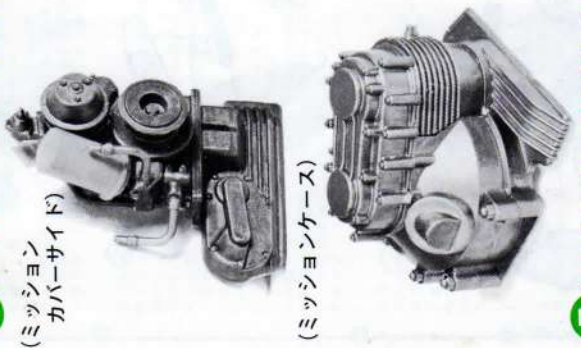


(エアークリーナー)

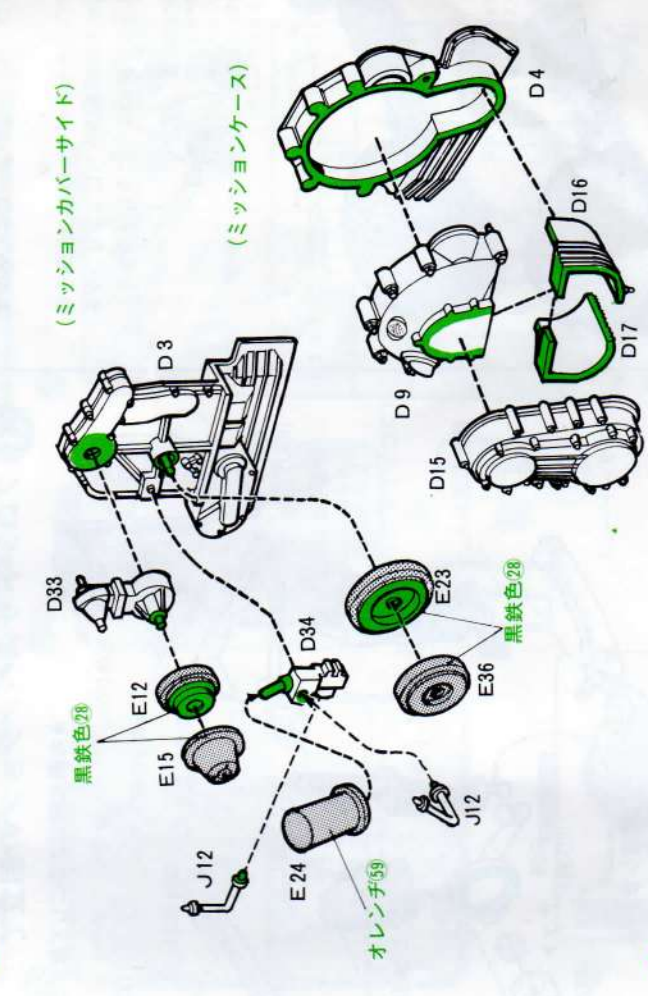
8 エアークリーナーの組立て



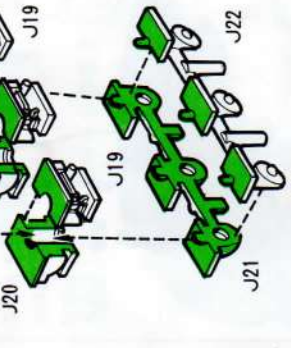
6 (シリンダーブロックの組立て)



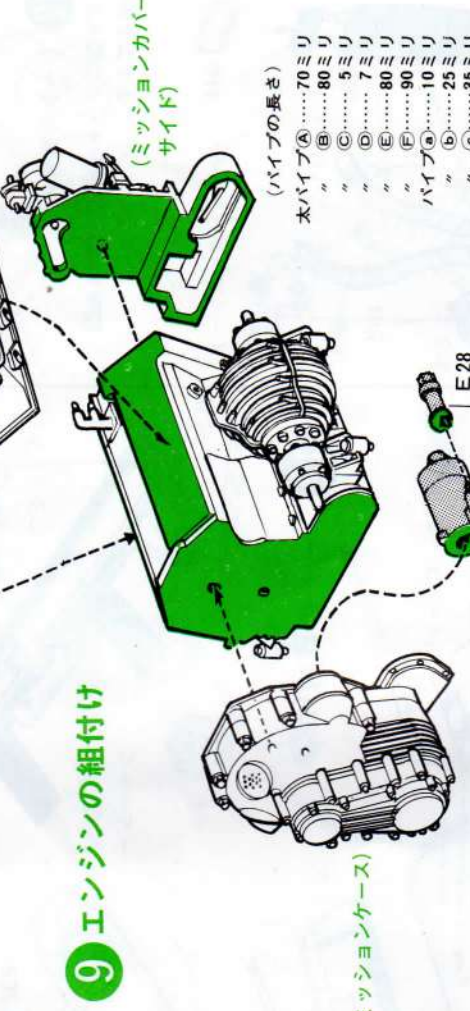
6 シリンダーブロックの組立て



9 (エンジン組付け)

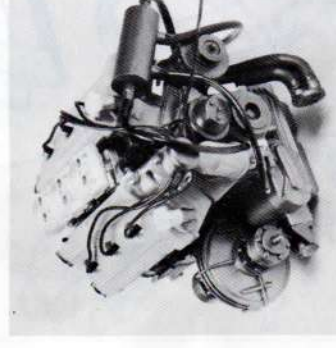


9 エンジンの組付け



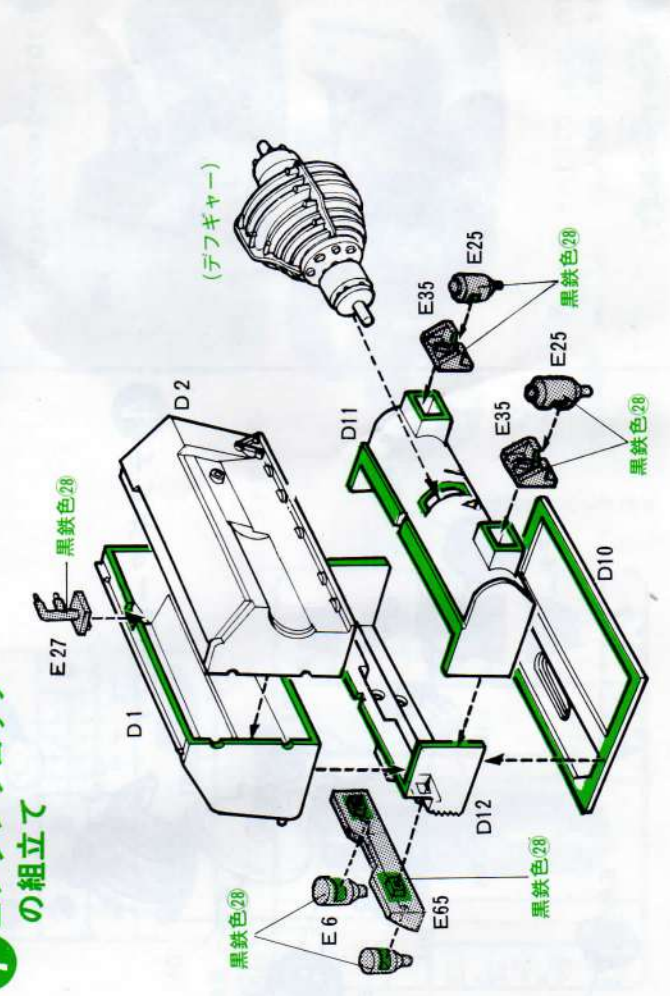
(ミッションケース)

10 (パイプ類の配線)

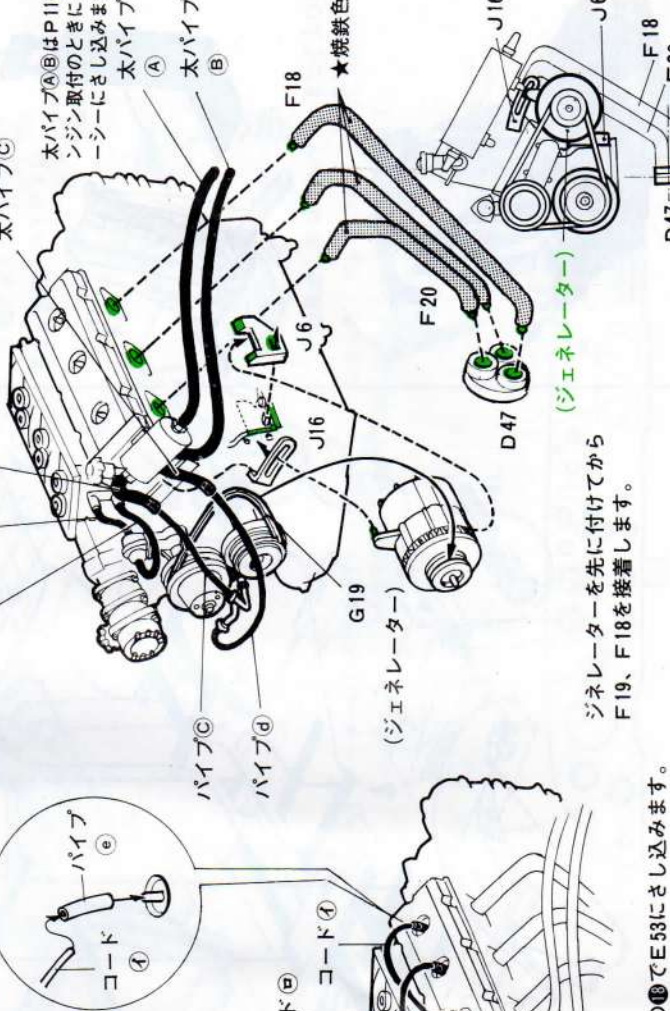


★焼鉄色は赤③30%+黒鉄色2870%

7 エンジンブロックの組立て



10 パイプ類の配線



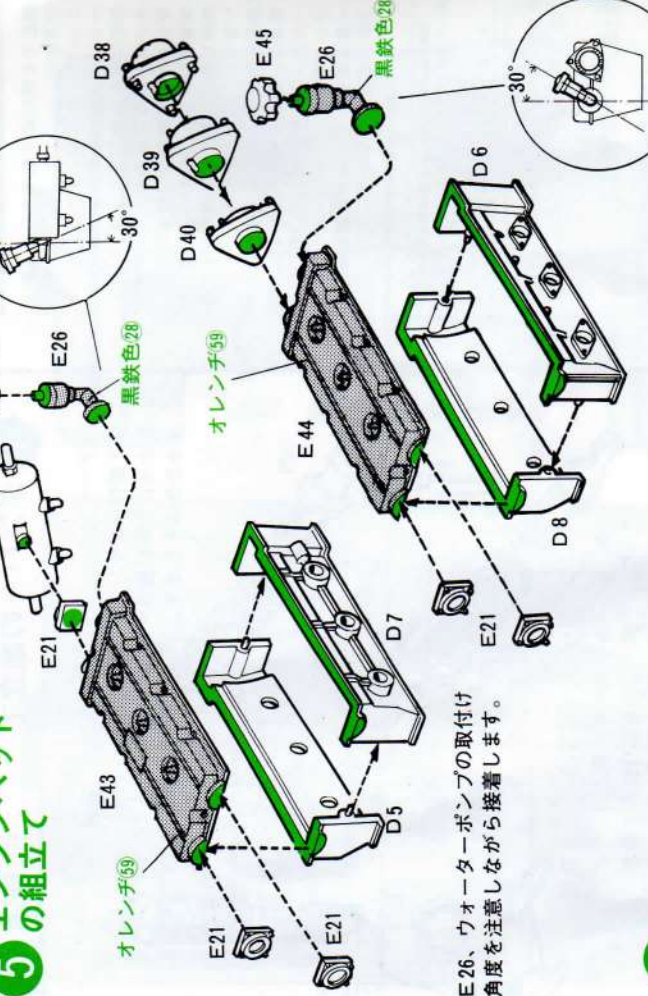
★コード⑤はP11の⑩でE53にさし込みます。

ジェネレーターを先に付けてから F19、F18を接着します。

5 (エンジンヘッドの組立て)

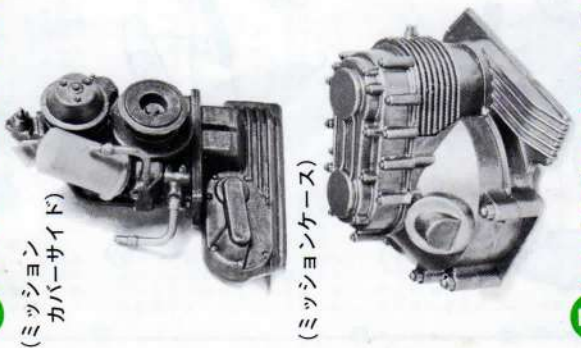


5 エンジンヘッドの組立て

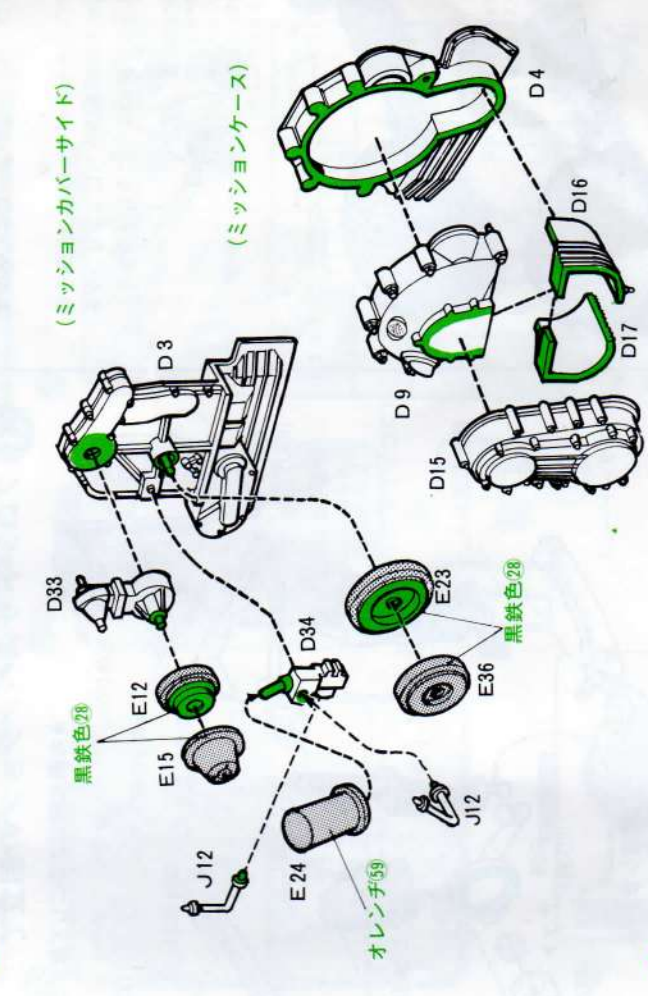


E26、ウォーターポンプの取付け角度を注意しながら接着します。

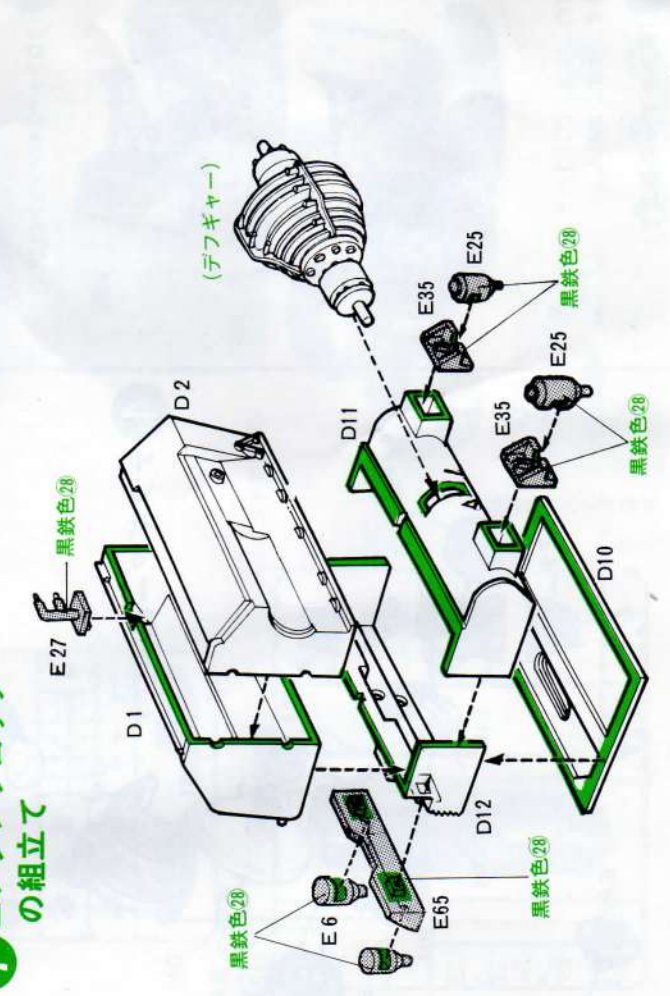
6 (シリンダーブロックの組立て)



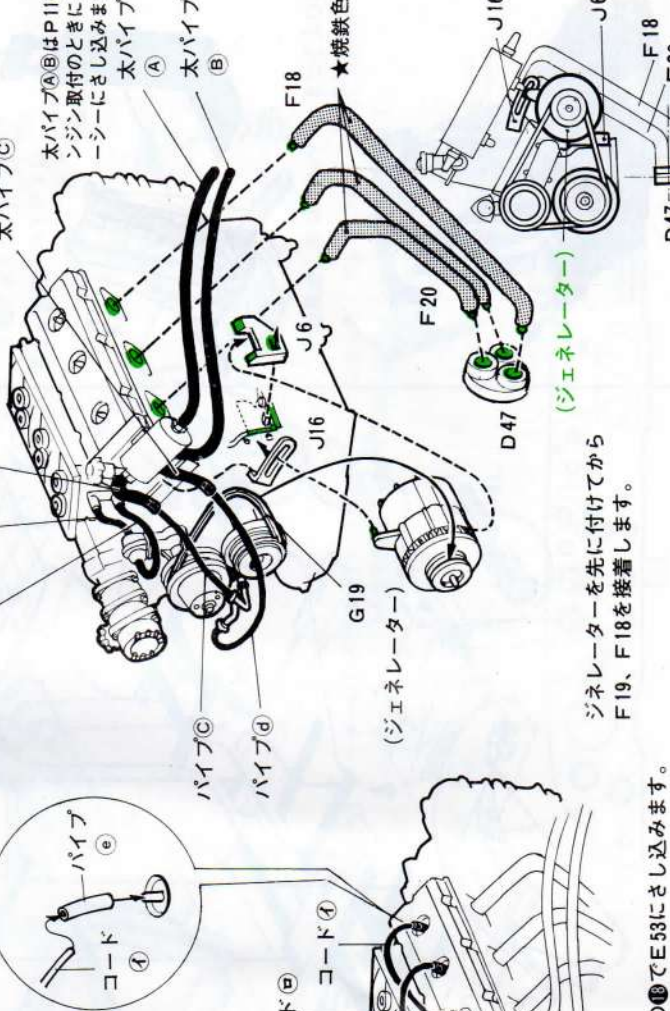
6 シリンダーブロックの組立て



7 エンジンブロックの組立て



10 パイプ類の配線



★コード⑤はP11の⑩でE53にさし込みます。

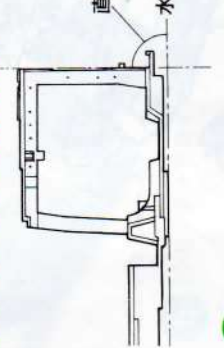
ジェネレーターを先に付けてから F19、F18を接着します。

11 シャーシーフレーム(リア)の組立て

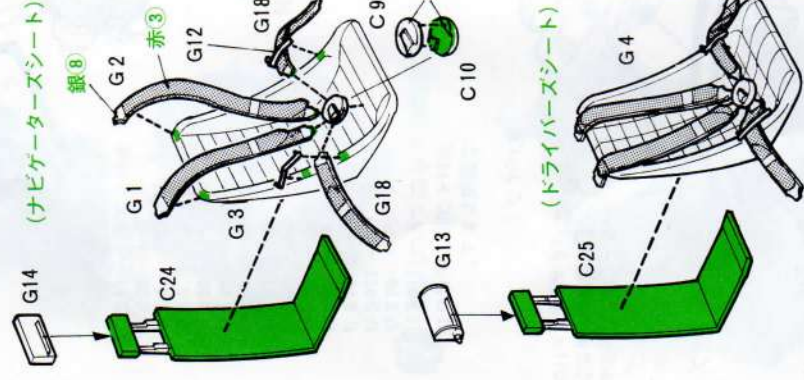
図のように組立てますが、接着後はセロテープなどで完全に固定するまでさわらないようにします。



12 シートの取付け



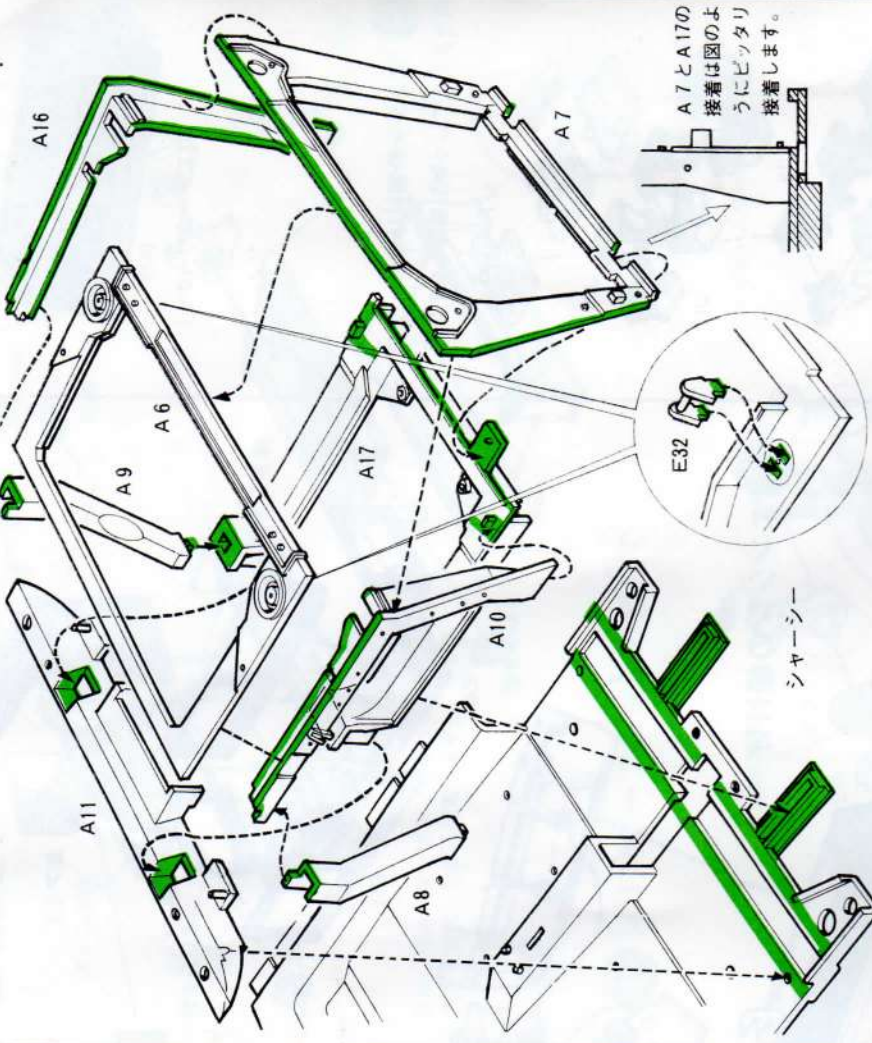
まず下図のシートを組立ててから右図を組立てます。



図のようにすべてベルトは赤、金具は銀を塗ります。

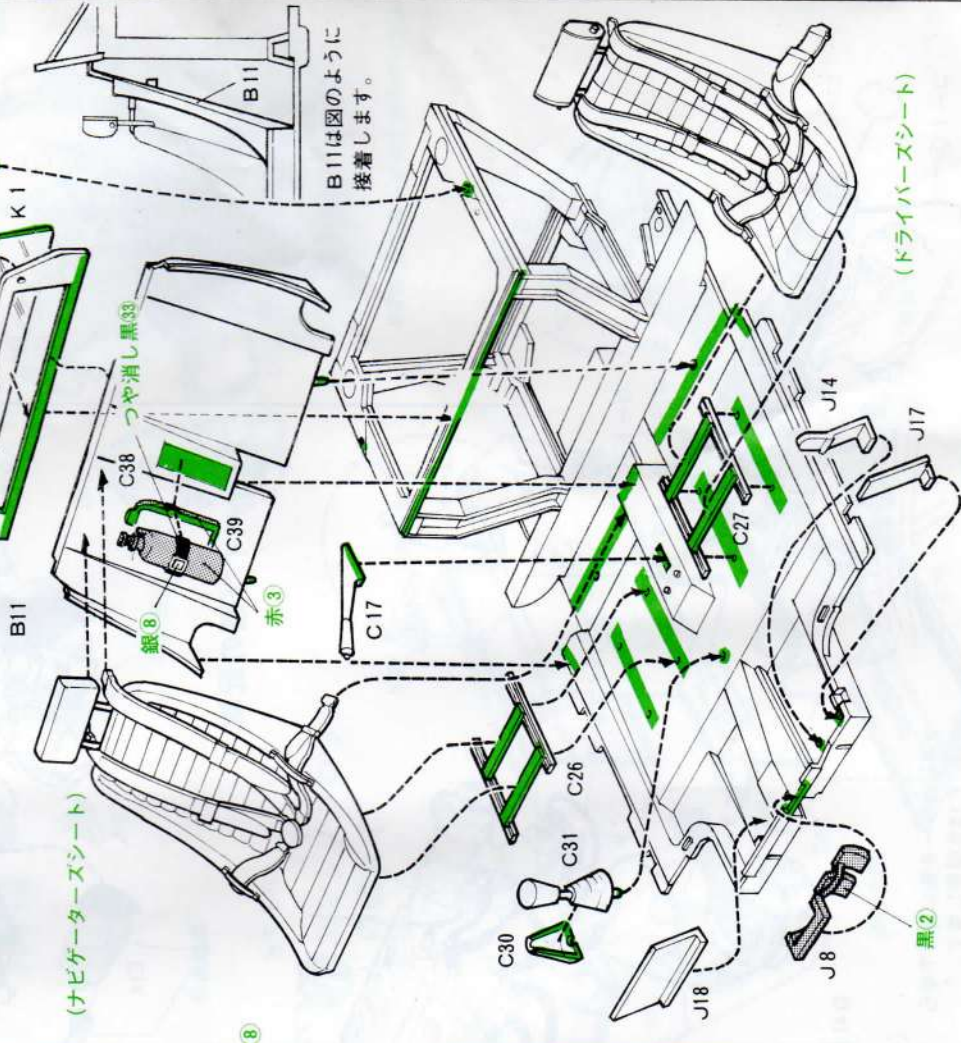


11 シャーシーフレーム(リア)の組立て



A7とA17の接着は図のようにピッター接着します。

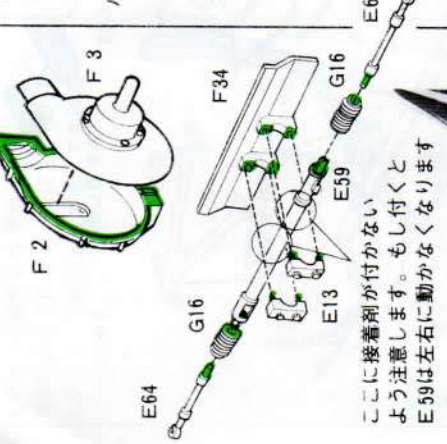
12 シートの取付け



B11は図のように接着します。

(ドライバースシート)

13 フロントサスペンションの取付け



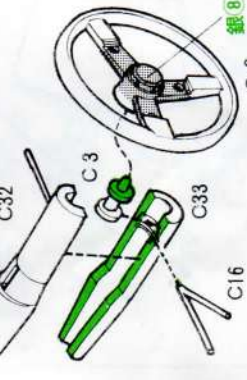
ここに接着剤が付かないよう注意します。もし付くとE59は左右に動かなくなります



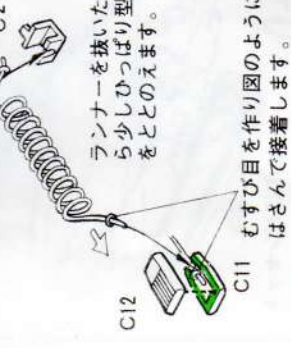
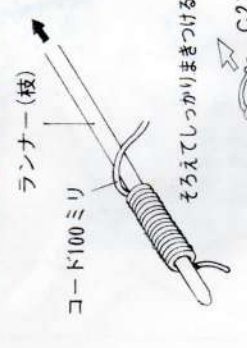
14 (ダッシュボード)の組立て



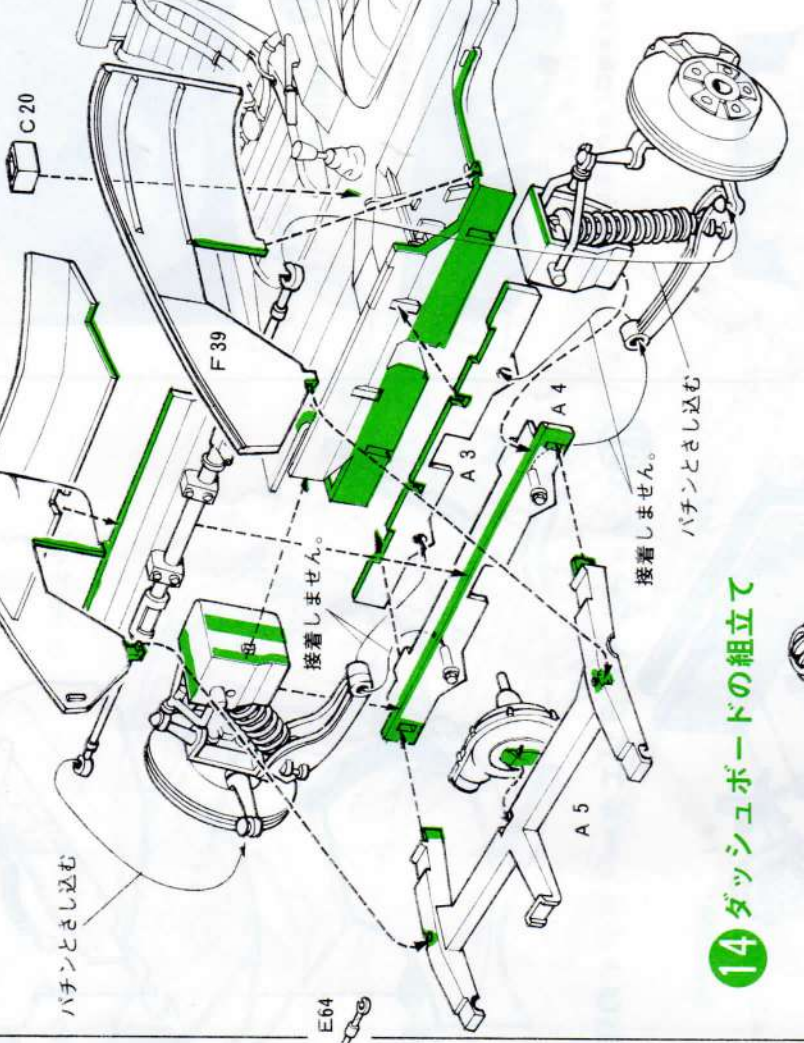
(ハンドルの組立て)



(マイクロホンのコードの作り方)



13 フロントサスペンションの取付け



パチンとさし込む

接着しません。

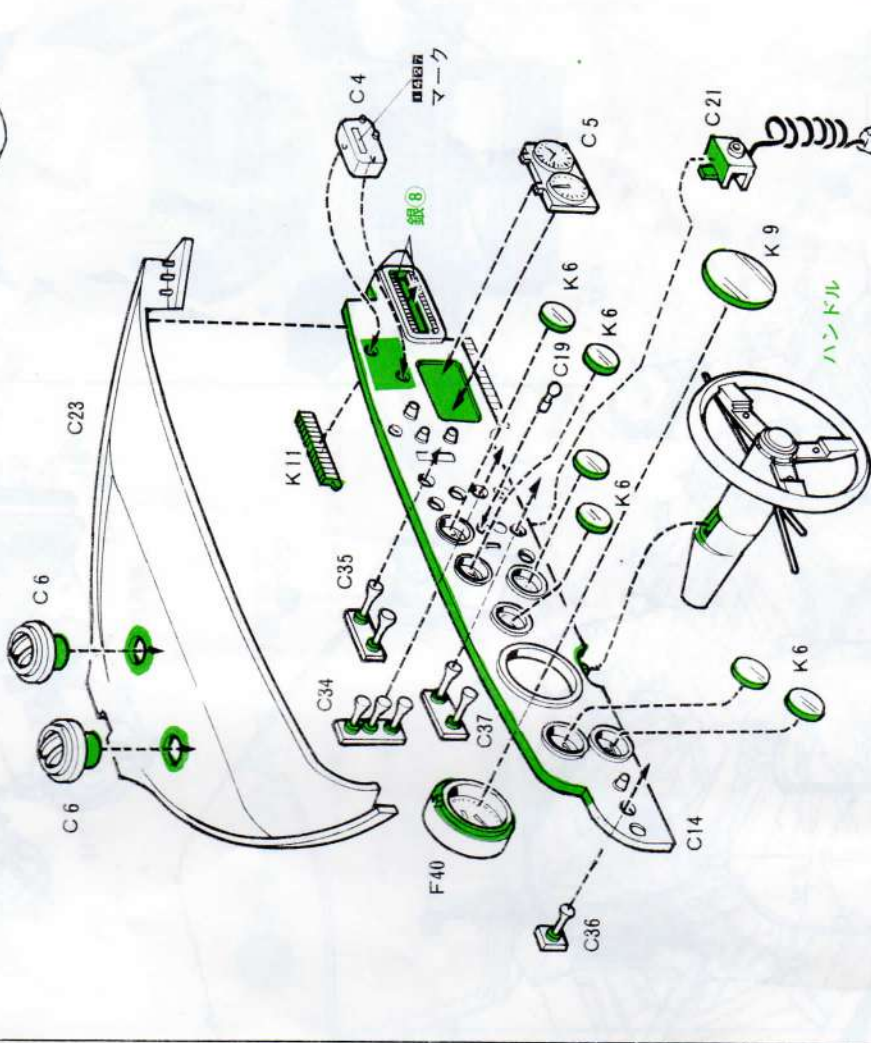
パチンとさし込む

接着しません。

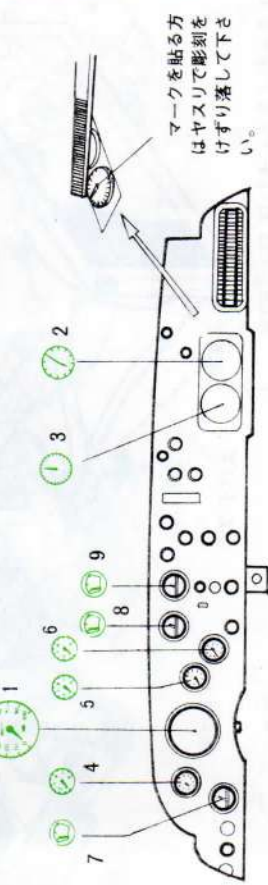
パチンとさし込む

接着しません。

14 ダッシュボードの組立て



(マークの貼り方) メーターは彫刻されていますのでマークは貼らなくてもよいが、リアルにしたい人は透明部品を接着する前に図のようにマークを貼ります。

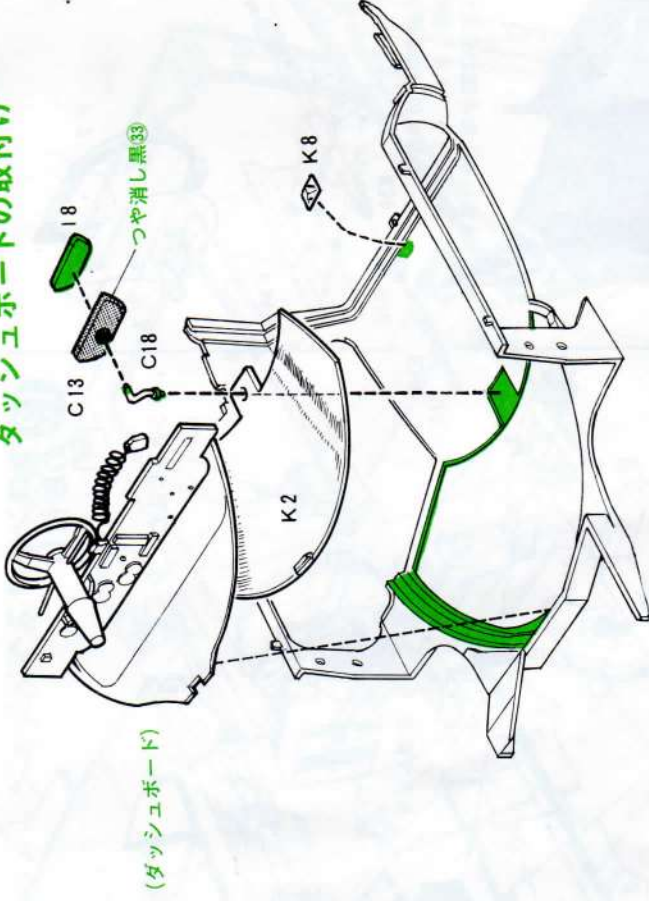


マークを貼る方はヤスリで彫削をけずり落して下さい。

15 (ダッシュボードの取付け)



ダッシュボードの取付け

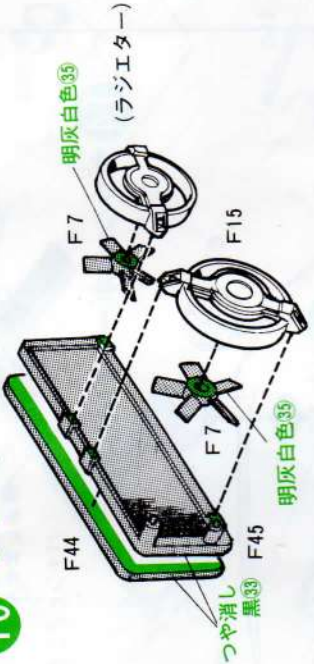


16 (シャーシにラジエターボディの取付け)

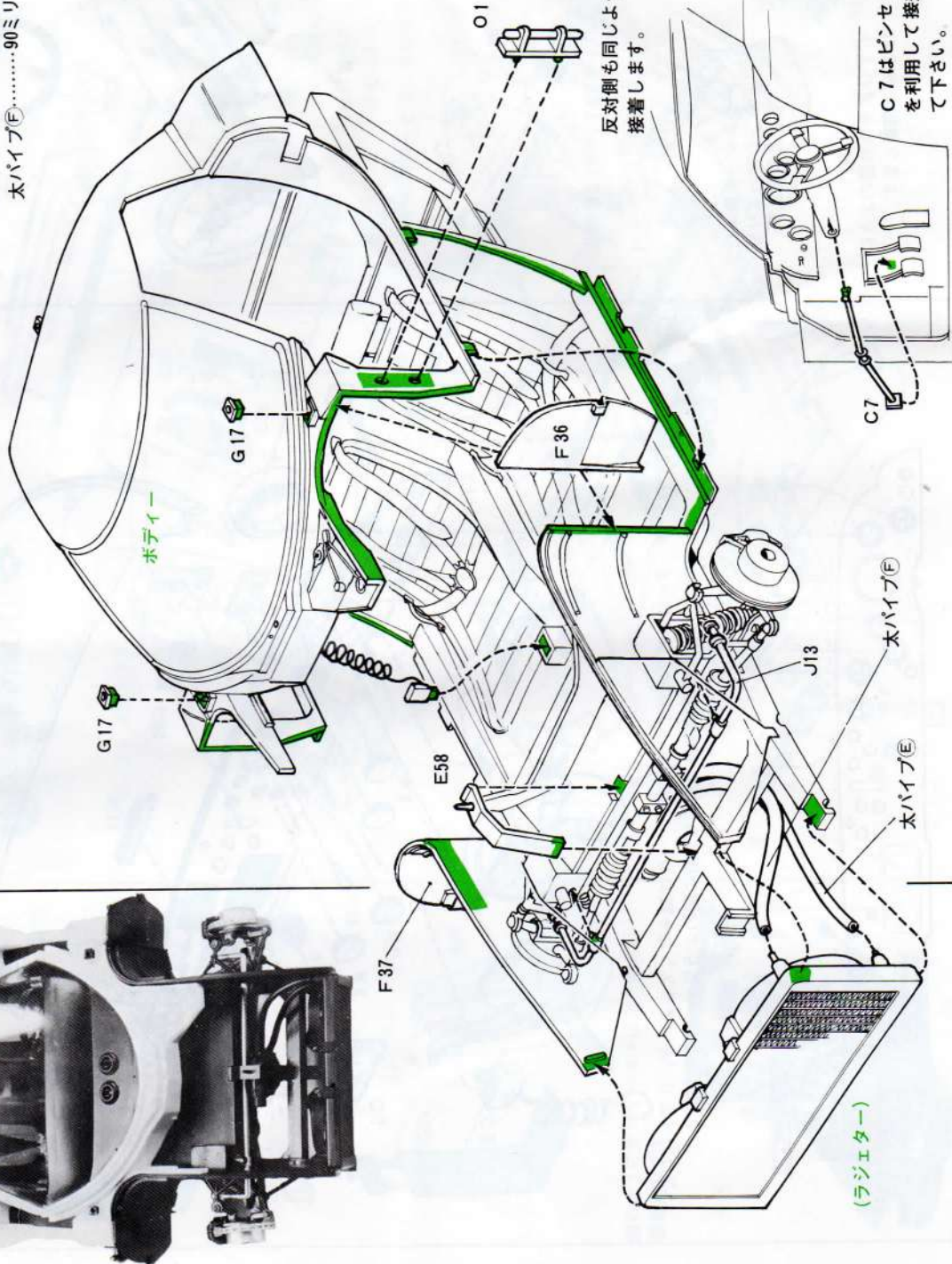


写真を参考にしながら正しく組立てます。

16 シャーシにラジエター・ボディの取付け



(パイプの長さ)
太パイプ(E).....80ミリ
太パイプ(F).....90ミリ

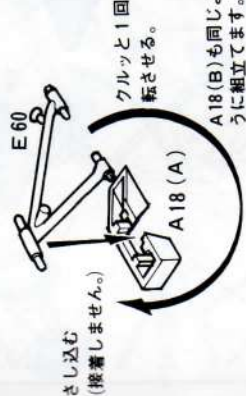


(ラジエター)

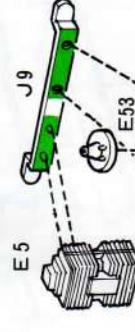
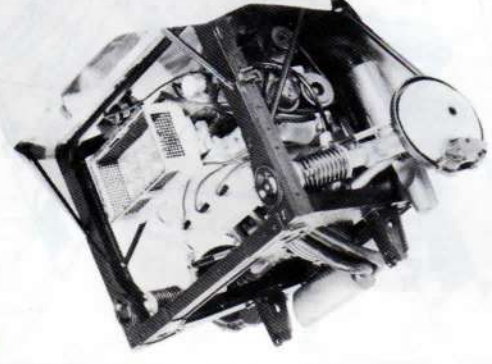
C7はピンセットを利用して接着して下さい。

17 (エンジンの取付け)

エンジンを取付けながら太パイプ(A)・(B)をどのようにシャーシにさし込んでおきます。下図の組立てをして各部品を接着します。

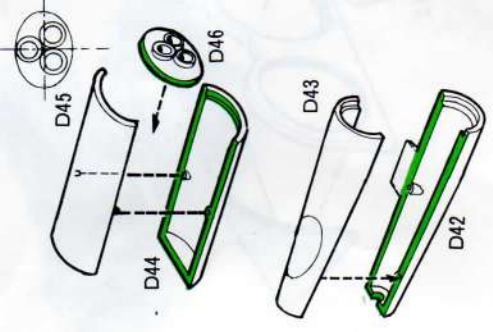


18 (ドライブシャフトの組立て)

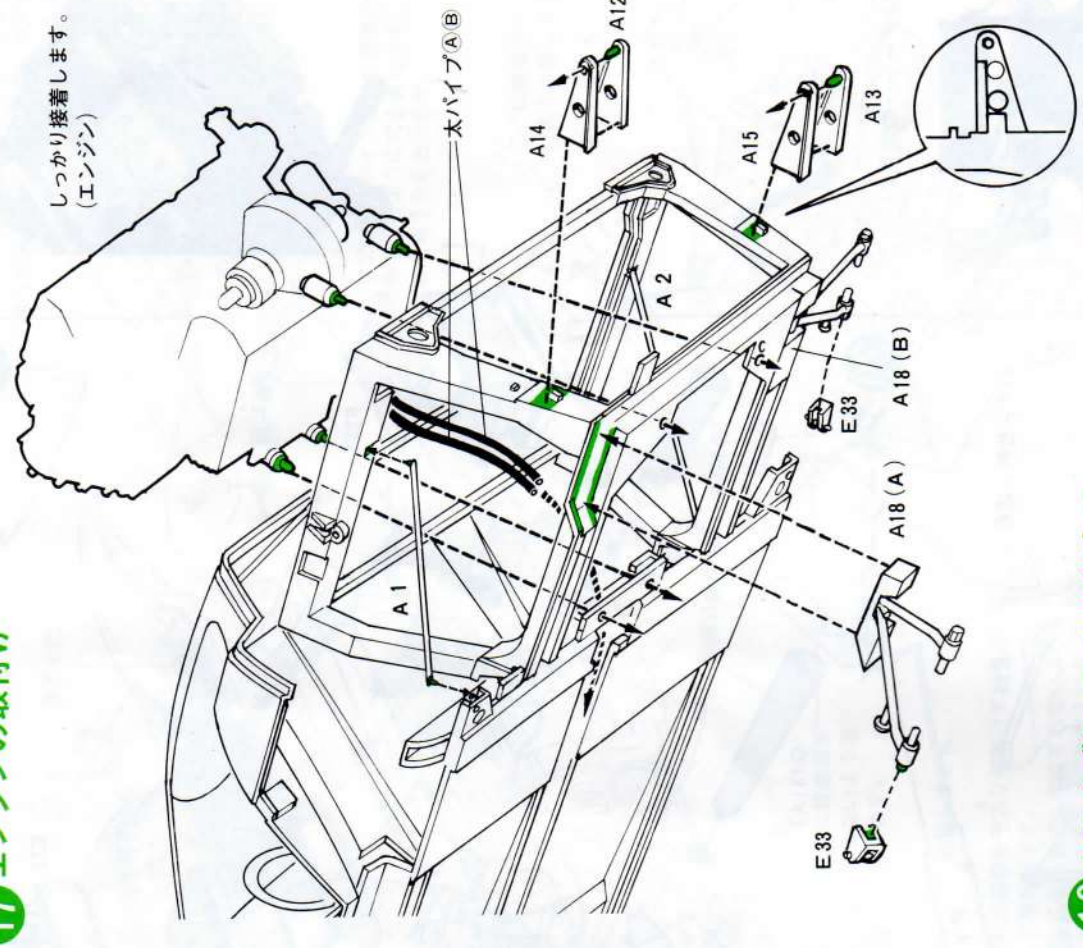


A, B 2 組作ります。
(A)→長い (B)→短い

(マフラーの組立て)

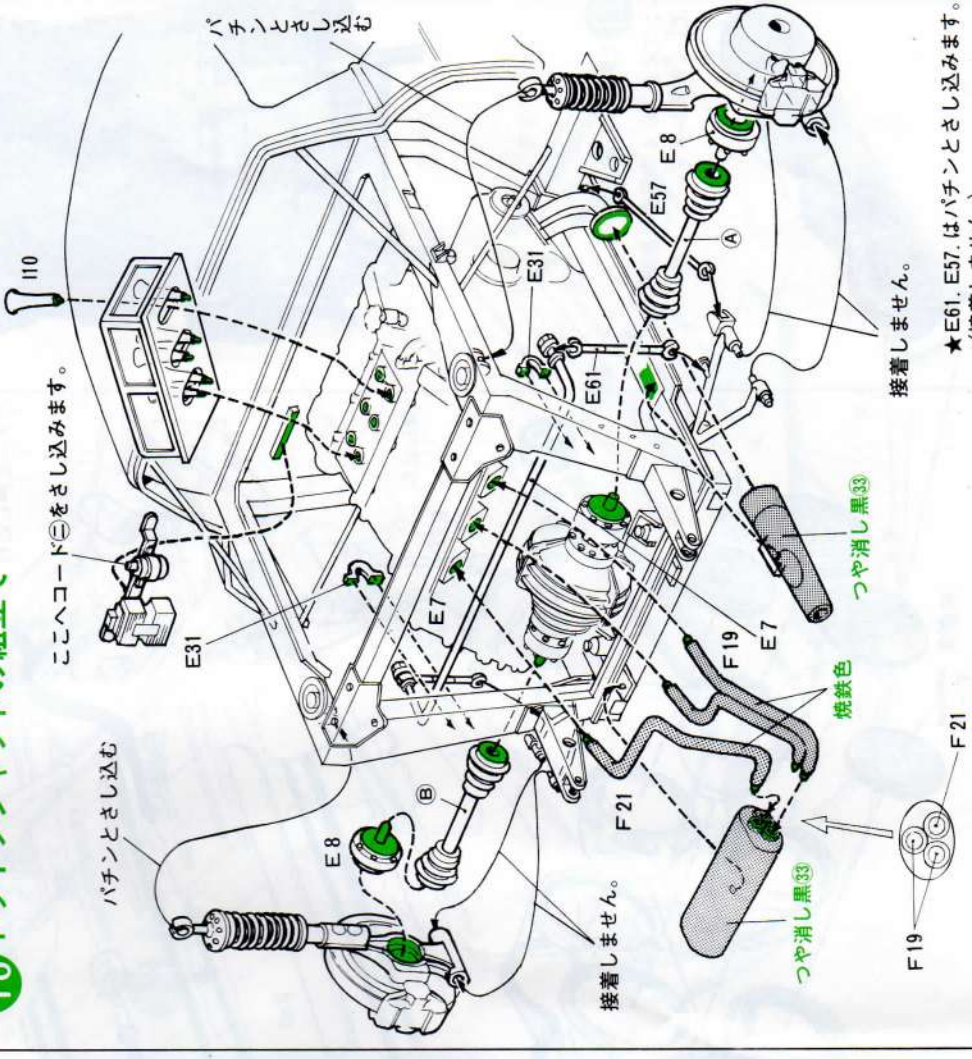


17 エンジンの取付け



しっかり接着します。(エンジン)

18 ドライブシャフトの組立て



ここへコード(E)をさし込みます。

パチンとさし込む

パチンとさし込む

接着しません。

接着しません。

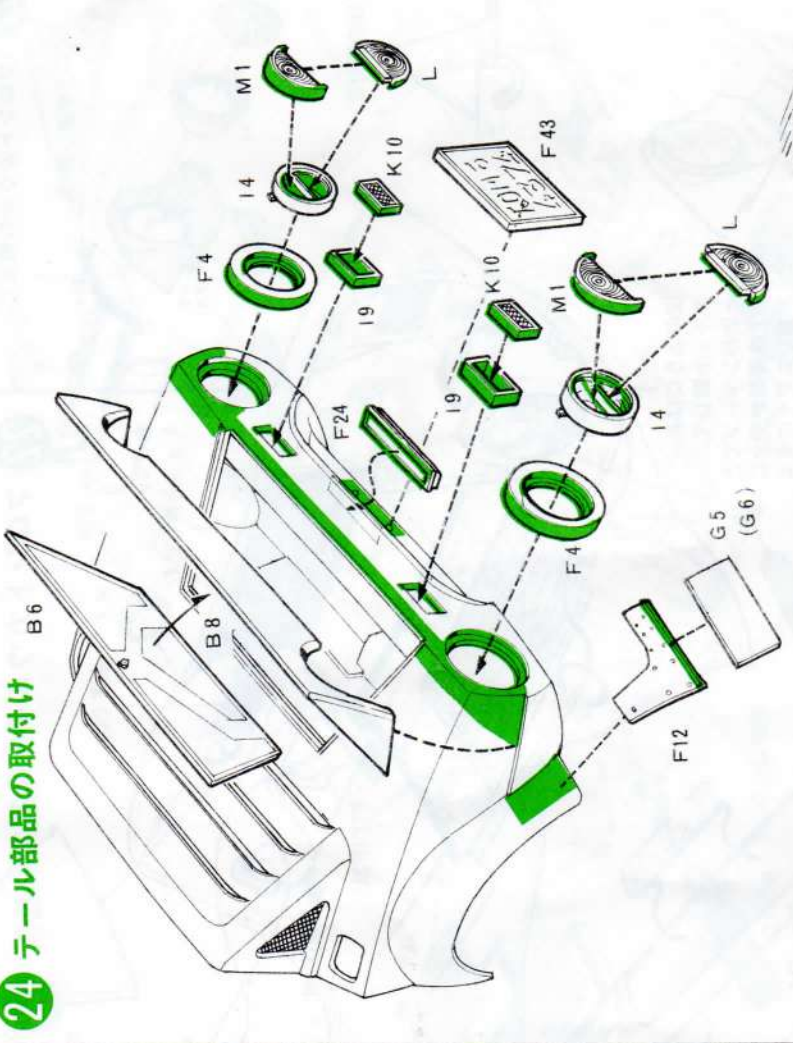
★E61, E57 はパチンとさし込みます。(接着しません。)

24 (テール部品の取付け)



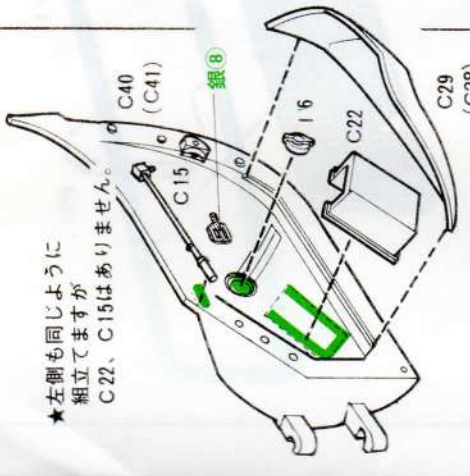
(注意) F43はナンバープレート影刻をヤスリ等でけずり落して取付けます。

24 テール部品の取付け



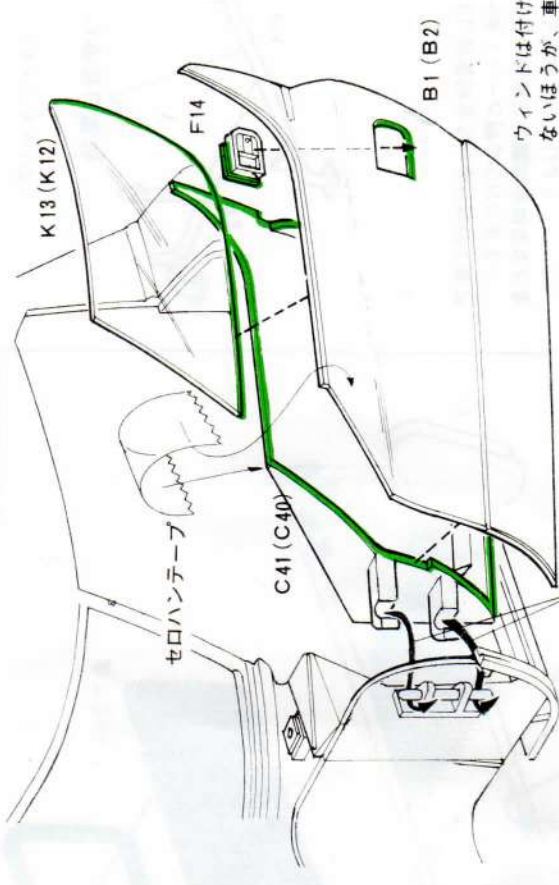
27 (ドア-の取付け)

★左側も同じように組立ますがC22、C15はありません。



27 ドア-の取付け

ボディとの合わせに注意してしっかり取付けて下さい。

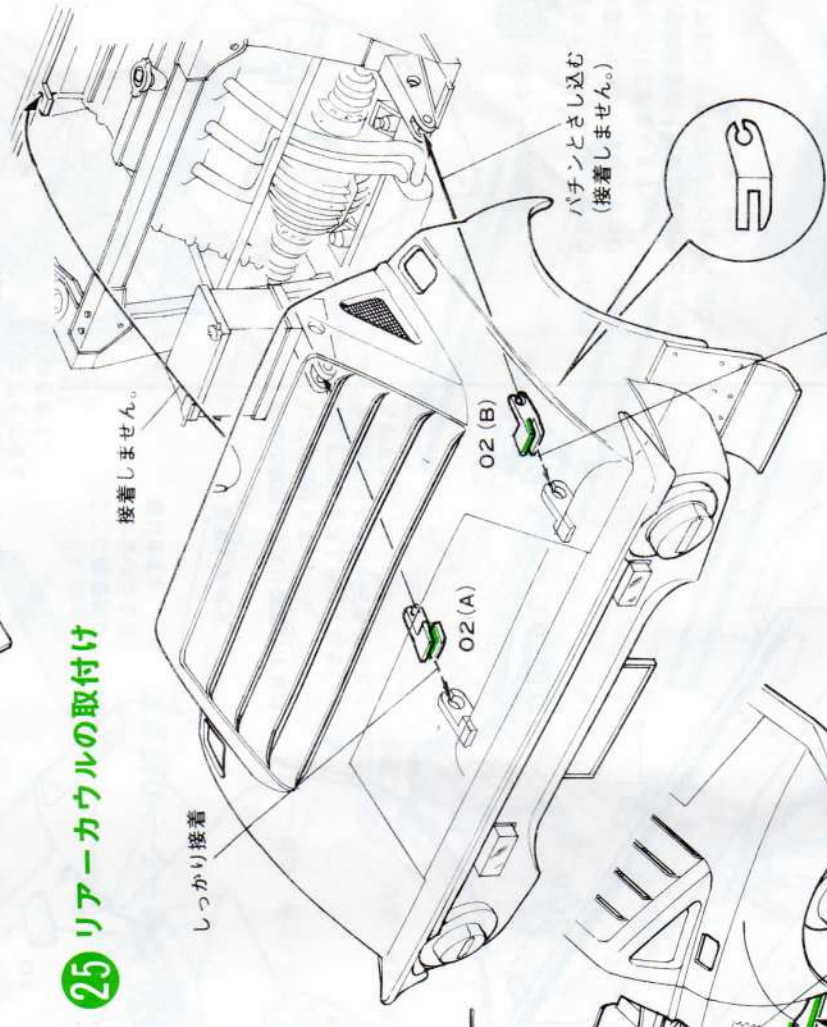


ウィンドは付けないほうが、車内が良く見え、引き立ちます。

25 (リア-カウルの取付け)

02をけがき線に合わせながらリア-カウルに接着したら接着剤がかわかないうちにヒンジにさし込み、リア-カウルをボディにかぶせて接着剤が完全にかわるまでそのままにしておきます。(ボディとカウルの合せ目をそろえる)

25 リア-カウルの取付け

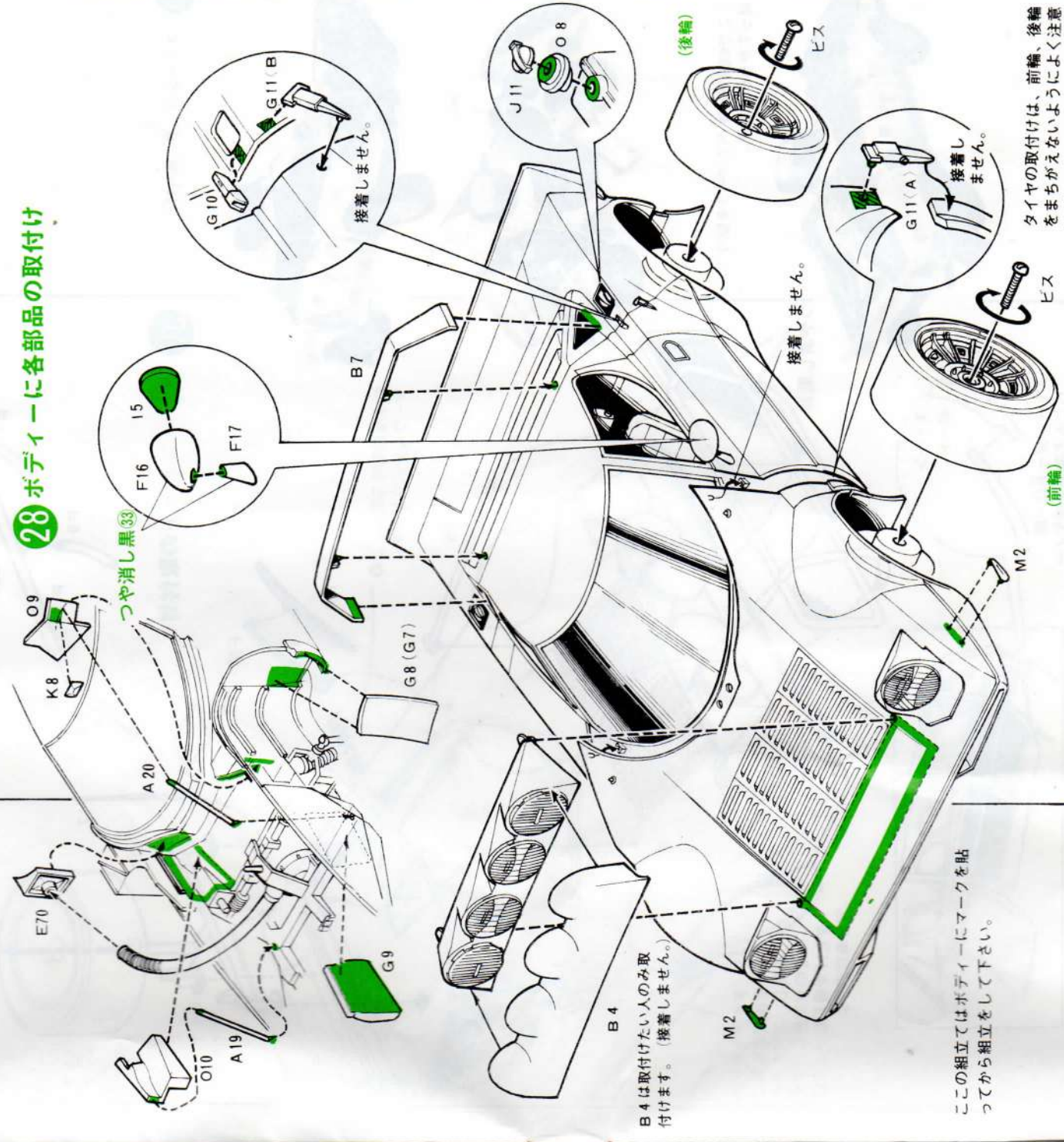


28 ボディ-に各製品の取付け

接着しません。

28 (ボディ-に各製品の取付け)

フロントカウルを開いて下図のように各部品を取付けます。



B4は取付けたい人のみ取付けます。(接着しません。)

この組立てはボディ-にマークを貼ってからの組立をして下さい。

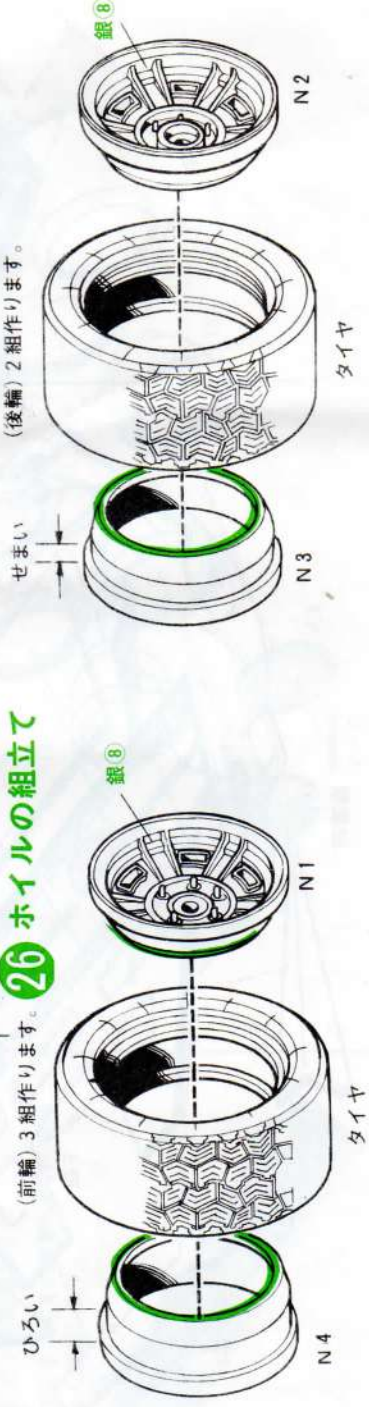
タイヤの取付けは、前輪、後輪をまちがえないようによく注意しましょう。

26 (ホイールの組立て)

26 (ホイールの組立て)

ドア-をセロハンテープで仮止めしておいてからボディ-、に合わせ接着します。

26 ホイールの組立て



しっかり接着

(後輪) 2組作ります。

せまい

(前輪) 3組作ります。

ひろい

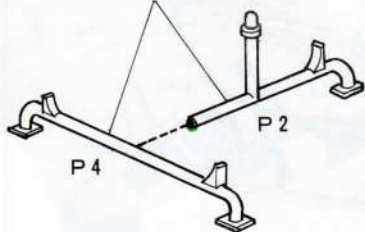
タイヤ

タイヤ

29 (ストーンガードの組立て)

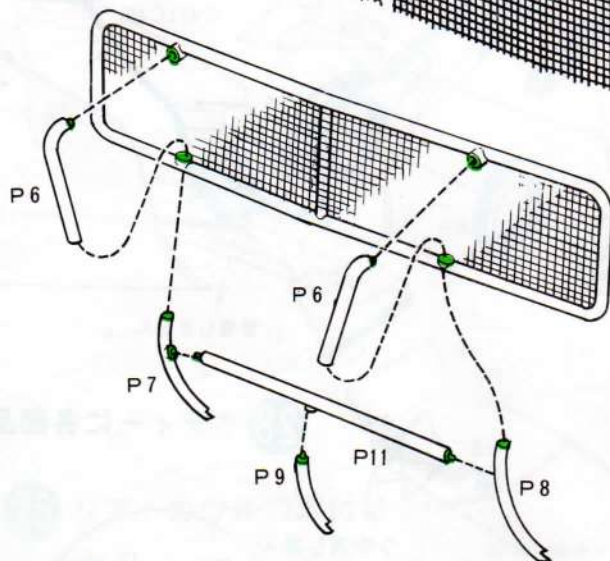
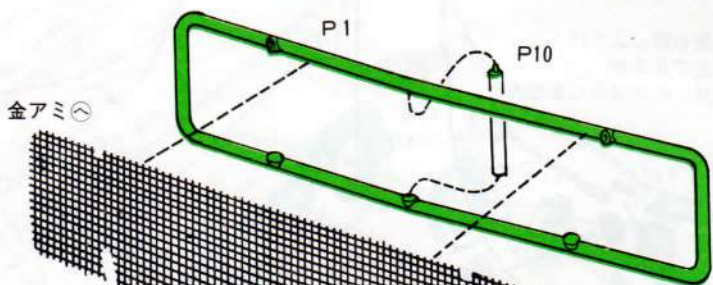
(タイヤキャリア)

つや消し黒③



P1に接着剤をたっぷり付けて金アミ⑤をギュッと押し付けて付けます。
 ※金アミの接着には瞬間接着剤などを使うとよいでしょう。
 (手や洋服につかない様に充分注意しましょう。)

29 ストーンガードの組立て

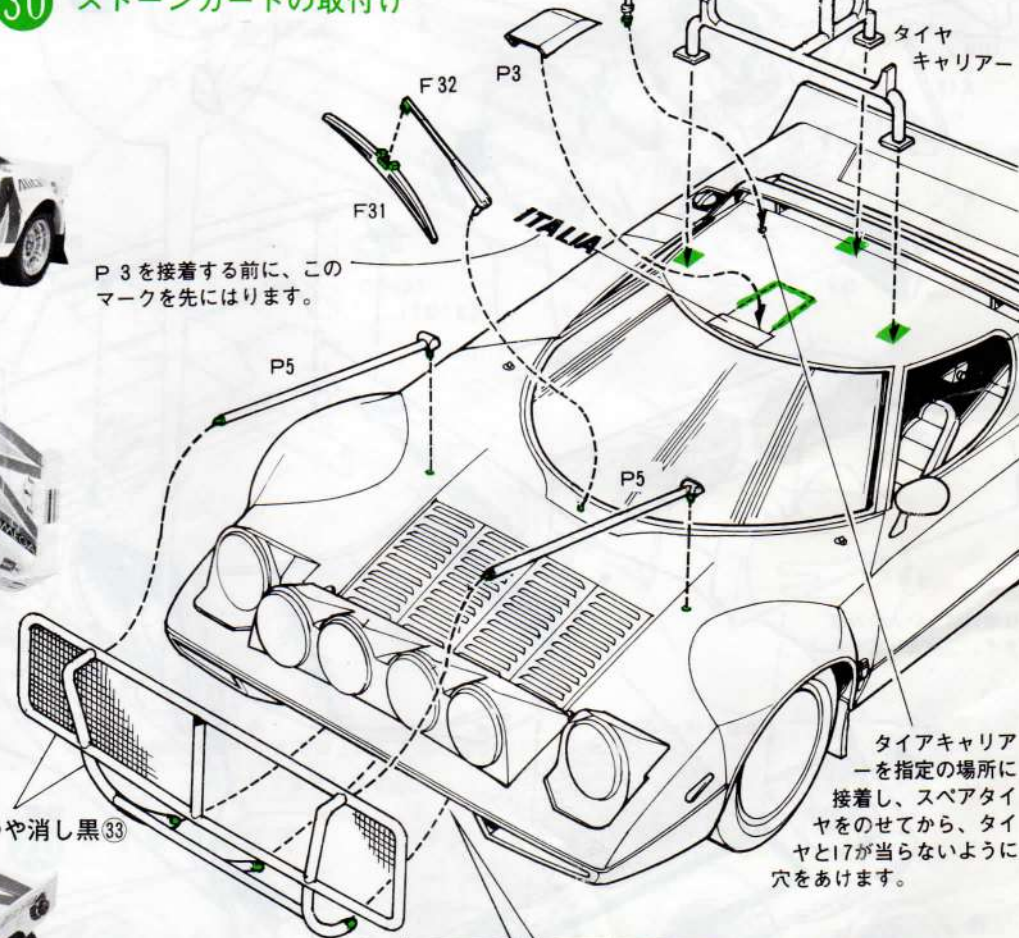


30 ストーンガードの取付け

30 (ストーンガードの取付け)



P3を接着する前に、このマークを先にはります。



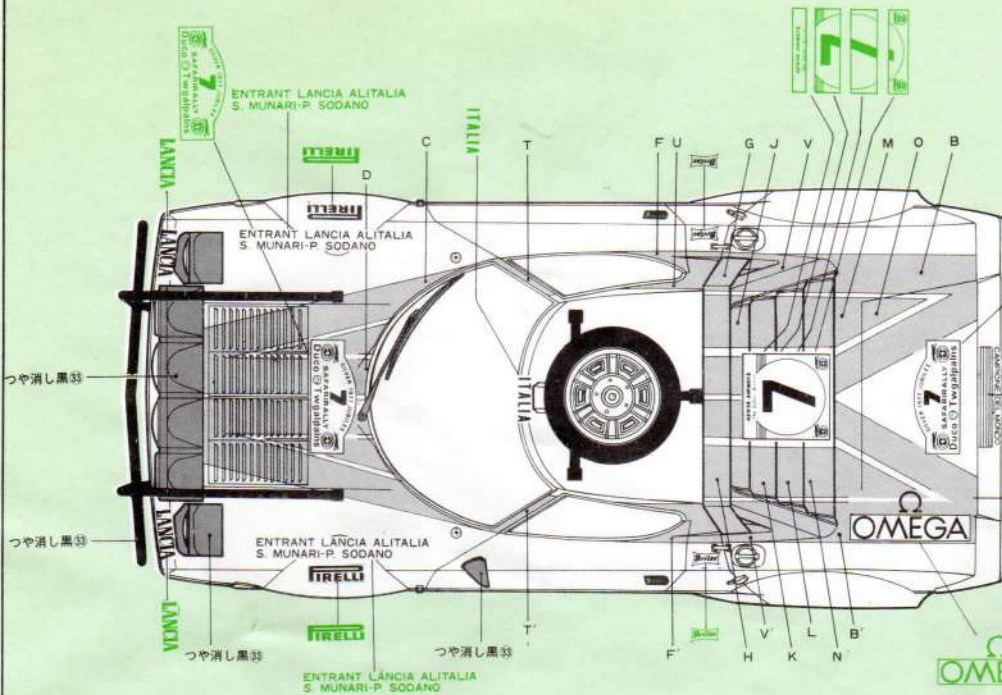
タイヤキャリアを指定の場所に接着し、スペアタイヤをのせてから、タイヤと17が当たらないように穴をあけます。

ここでの組立はすべてマークを貼り終わってからにします。



ストーンガードは一段へこんだ部分をボディに合わせ接着します。

1/12 SCALE LANCIA STRATOS SAFARI TYPE



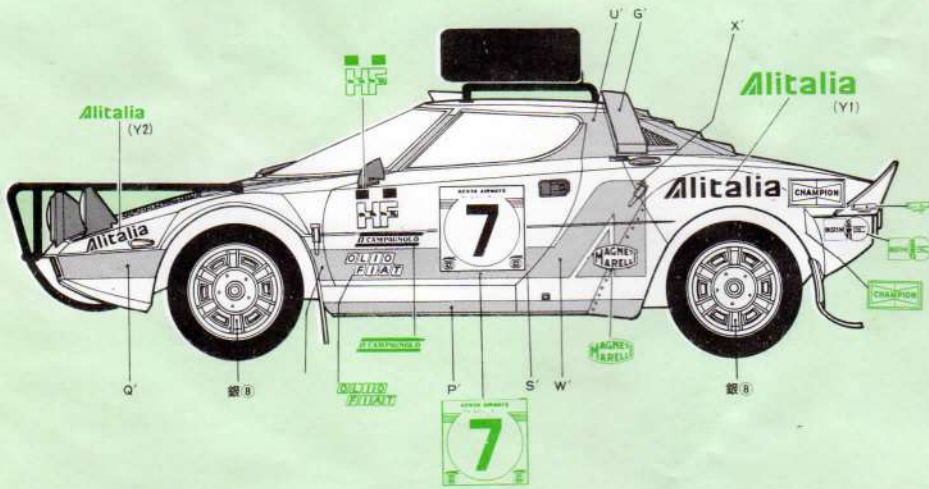
《塗装》

(ボディの塗装)

市販のカラーズプレーを利用して吹き付け塗装をするのが1/12スケールのようなビッグモデルには最適でしょう。まず用意するものとして、新聞紙、あき缶、ポロ布、セロテープ等です。天気の良い日を選んで吹き付けをしませんと、湿気の多い日は塗装したあと表面のつやがなくなり、むらができやすくなります。またほこりっぽい所での吹き付けもさけて下さい。表面にはこりや、ゴミがくっついてきたなくなります。以上の点を守りながら作業して下さい。ボディの塗装はフロントカウル、ボディ、リアカウル、ドア等をうら側からセロテープで、はり仮組をしてから、あき缶の上にボディを乗せて、吹き付けて下さい。スプレー缶は上下によく振って缶の中の塗装をよくかきまぜてから吹きつけますが、吹きはじめはまざり具合を見るために、新聞紙などにためし吹きをして下さい。20cmくらいはなして、スプレー缶を同じ方向にすばやく動かして吹き付けます。モール等の塗装はボディの吹き付けが終わって塗料が完全にかわいてから行って下さい。筆は細筆を使用し、たっぷり目に塗料をつけて、ていねいに塗りましょう。このとき塗るほうの手を固定したほうが楽です。

(小部品の塗装)

あるていど組んでからのほうが楽か、組む前に塗ったほうが楽かを考慮しながら塗りますが、小部品は細筆、小し大きめの部品は平筆を使ったほうがよいでしょう。



このキットの塗装に使用するモデルカラーの番号です

モデルカラー	33	58	●	●	●	●	●	●
	8	28	59	●	●	●	●	●
	3	20	35	2	●	●	●	●

□ 上段 - 多く必要な色 □ 中段 - 中くらい必要な色 □ 下段 - 少し必要な色

(マークの貼り方)

1. はりたいマークをはさみやナイフで切りとっておきます。このときニス(透明な)部分をきれいに切りとります。
2. マークをぬるま湯にひたし約20~30秒でひき上げてタオル等の布の上におきます。
3. 約1分ぐらい紙のはしを手で持ち、マークをスライドさせてモデルに移します。
4. 指に水をつけてマークをずらしながら正しい位置に移します。
5. タオル等のやわらかい布でマーク内の気泡をおし出しながら、マークを押さえて水分を取り去ります。

